

大震災が生活者のココロにもたらしたもの

東日本大震災にともなう、様々な生活者心理への影響把握調査

2011年5月9日公表

社団法人 日本酪農乳業協会
(※調査の企画・分析／株式会社SONAR)

このたび、J-MILKでは、2011年3月11日に起こった東日本大震災が、生活者にもたらした様々な心理的影響を理解することで、今後、牛乳が日本社会に貢献出来ることを特定するとともに、牛乳普及施策の立案へと反映すべく、下記の概要で調査を行いました。

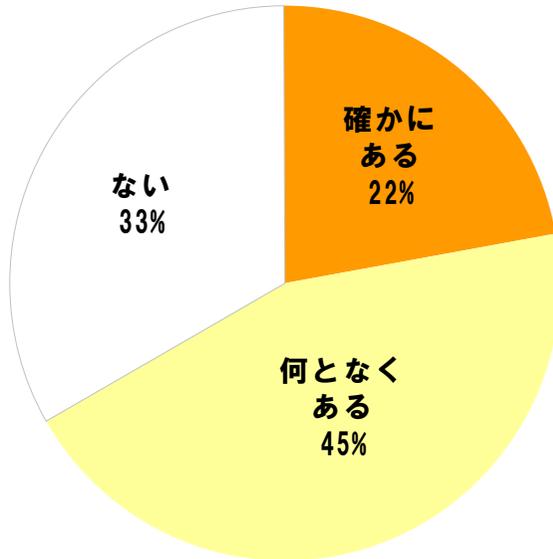
ここに、その一部を抜粋して、ご報告申し上げます。

- | | |
|------------|--|
| ○ エリア | 全国(※調査対応が困難だった被災県／岩手・宮城・福島・茨城をのぞく) |
| ○ サンプル数 | 600(本調査時)
5000(スクリーニング時) |
| ○ 本調査の対象条件 | 10-60代の男女 |
| ○ 本調査の割付 | ■牛乳／ほぼ毎日飲用 200
■牛乳／週5~1日飲用 200
■牛乳／週1日未満飲用 200 |
| ○ 本調査期日 | 2011年 4/4(月)~6(水) |
| ○ 調査手法 | FAを多く含むネット調査 |

震災後の生活者に起きた心境の変化

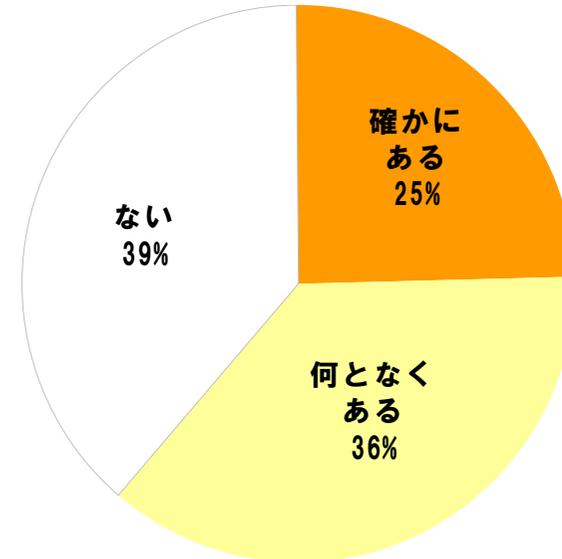
震災後の心境変化

3/11に起きた東北地方を中心とする大地震(東日本大震災)の後、**あなたの心**には、何らかの**あなたがよいと思える変化**が occurred しましたか。



N=600

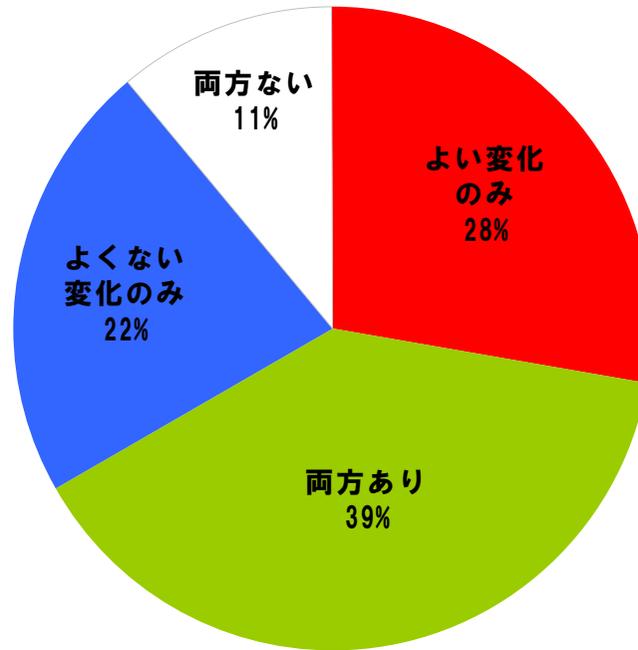
3/11に起きた、東北地方を中心とする大地震(東日本大震災)の後、**あなたの心**には、何らかの**あなたがよくないと思う変化**が occurred しましたか。



N=600

震災後、7割弱の生活者の心に何らかのよい変化が起きた。
その一方で、6割の生活者の心には何らかの悪い変化も起こった。

(参考) 震災後の心境変化 / よい変化×よくない変化



N=600

全体で見れば、生活者の9割の心に何らかの影響があった。



**生活者の心に起きた
「よい変化」のコメント**

生活者の心に起きた「よい変化」のコメント 1/2

10代女 週1回	普段から災害に対しての心構えをするまた、みんなが普段から節電をしていれば節電にならなくてもすむだろう
10代男 週2-3回	助け合っていきたいという気持ちが以前より強くなった。
20代女 ほぼ毎日	人々が協力し合って前向きな未来を築いて行こうとする姿勢に共感しました。今までは私自身、相手を貶めたり批判したり否定したりする気持ちが強かったのですが、批判からは何も生まれないということがよくわかりました。これからは相手を思いやって、意見をよく聞き、気持ちをわかってあげる努力をすることが必要なのだと実感しました。
20代女 ほぼ毎日	日本全体が繋がろう・助け合おうとする姿勢を実感できたことが良かったと思います。ストレス社会と言われて、人と人の繋がりが希薄になったと感じる事が多い時代であったのに、見知らぬ人へも手を差し伸べる人たちがこんなにも多くいることが嬉しいです。
20代女 週4-5回	無償で人を助けたいと思える心。以前は募金や節電など、やってはいても自分1人がやったって・・・という気持ちがいつものどこかにあったが今回ばかりはそんなこと考えていられなかった。
20代女 週4-5回	普通に生きて、生活していることをとても幸せなのだ強く実感している。大切な人が元気でいてくれることに感謝している。困っている人たちのために何かしたい、何ができるか、と今までよりも考えるようになった。悲惨な惨状に、胸が痛いことのほうが大きいけど、それでも、「みんなのためにできること」を考えることは良いことだと思う。
20代女 月2-3回	実際、被災者側の人間なんて(旅行中に地震に遭う)被災者側の気持ちが少しは分かる普段の日常が有難い・大切なものだ実感出来た
20代女 月1回以下	街頭で募金の呼びかけや、募金をする人等を見て人の温かさを実感した。
20代男 ほぼ毎日	震災前は、なんとなくズルズル滅びに向かうような空気に嫌気が指すばかりの日々だったが、震災によってはからずも人間の潜在力、底力が顕在化して驚かされ、感動させられた。さらに寄付を通じて改めて「与える」こと、「喜捨する」ことについて考える機会を与えられ、目を覚まされた思いがした。
20代男 ほぼ毎日	被災者のために何かしてあげたいという気持ちになった
20代男 月1回以下	他人を思いやるが増えた
20代男 週4-5回	人のために何かしたいという気持ちの高まりや、目の前のことに精一杯取り組もうと言うやる気。
20代男 週2-3回	命の大切さを再認識
20代男 月1回以下	ボランティアなど、何か人に出来る出来ないかと考えることをするようになった。
30代女 ほぼ毎日	命が一番大切。両親が死んで何年もたって、死を考える事を忘れていた。見栄を張って物にこだわって生きるのは馬鹿馬鹿しいと、あらためて感じた。
30代女 ほぼ毎日	すこしでも役に立てるように募金や援助など、具体的なことを考えるようになった。
30代女 週4-5回	無駄な買い物はしない。震災について考え、自分に出来ることを行う。出来るかぎり、義捐金を送る。
30代女 週2-3回	命を大切に家族や友人を大事にして生きていこうと思った
30代女 月2-3回	節電しよう、募金しようという気持ちが自然に出てきた。
30代女 月1回以下	家族の大切さ、命の大切さ、地域のつながり
30代男 ほぼ毎日	人は一人で生きていない。助け合い生きていると思った。
30代男 ほぼ毎日	少しでも他人の事を思い遣る心が増えた事
30代男 ほぼ毎日	無駄な電気を使わず、小さなことでも助け合う気持ちになった
30代男 週4-5回	節電や募金など自分で出来ることはなるべく行うようにした。買占めや給油などは行わず、その時に必要な分だけの食料を購入したり、車は使用せずに公共の交通機関をしようするようにした。一番心がけたことは、今までと変わらずに平常な生活を行うようにしたこと。
30代男 月2-3回	自分の気持ちに素直従って、いろいろなことにチャレンジしたいなあと感じます。
30代男 月1回以下	人とのつながりが以前と比べて改善された
30代男 ほぼ毎日	被災地から遠く離れて暮らしていても被害を悲しみニュースに怯え疲弊し、更なる危機が何年も続くことを理解するほど絶望した。気分はもちろん体調も悪くなった。しかし次第にそれは解消していった。依然として状況は好転せず良い知らせにも手放して喜べる状況にはないのに、だ。こういう人の精神の防御機構に感心した。このお陰で非被災民までもが悲しみや不安を乗り越えて動き出し応援することができるからだ。
40代女 ほぼ毎日	価値観が変わり、今まで気づかなかったありがたさを感じるようになった。また他人を今まで以上に思いやれるようになった。人に何かを譲る気持ちが芽生えるようになった。
40代女 週4-5回	買い物をするときに、よく考えて買うようになった。電気などをできるだけ消すようになった。
40代女 週2-3回	この震災で人のことを思いやる気持ちがより一層強くなったり、また今回の事で世界中が支援の手を差し伸べてくれている事を知りその一つ一つが心にしみた。
40代女 月1回以下	地域の人とのつながり。どうしても自治区の行事の参加など敬遠しがちで隣に方ともあいさつ程度なので、何かあったときにやはり繋がりは大事だと思います。

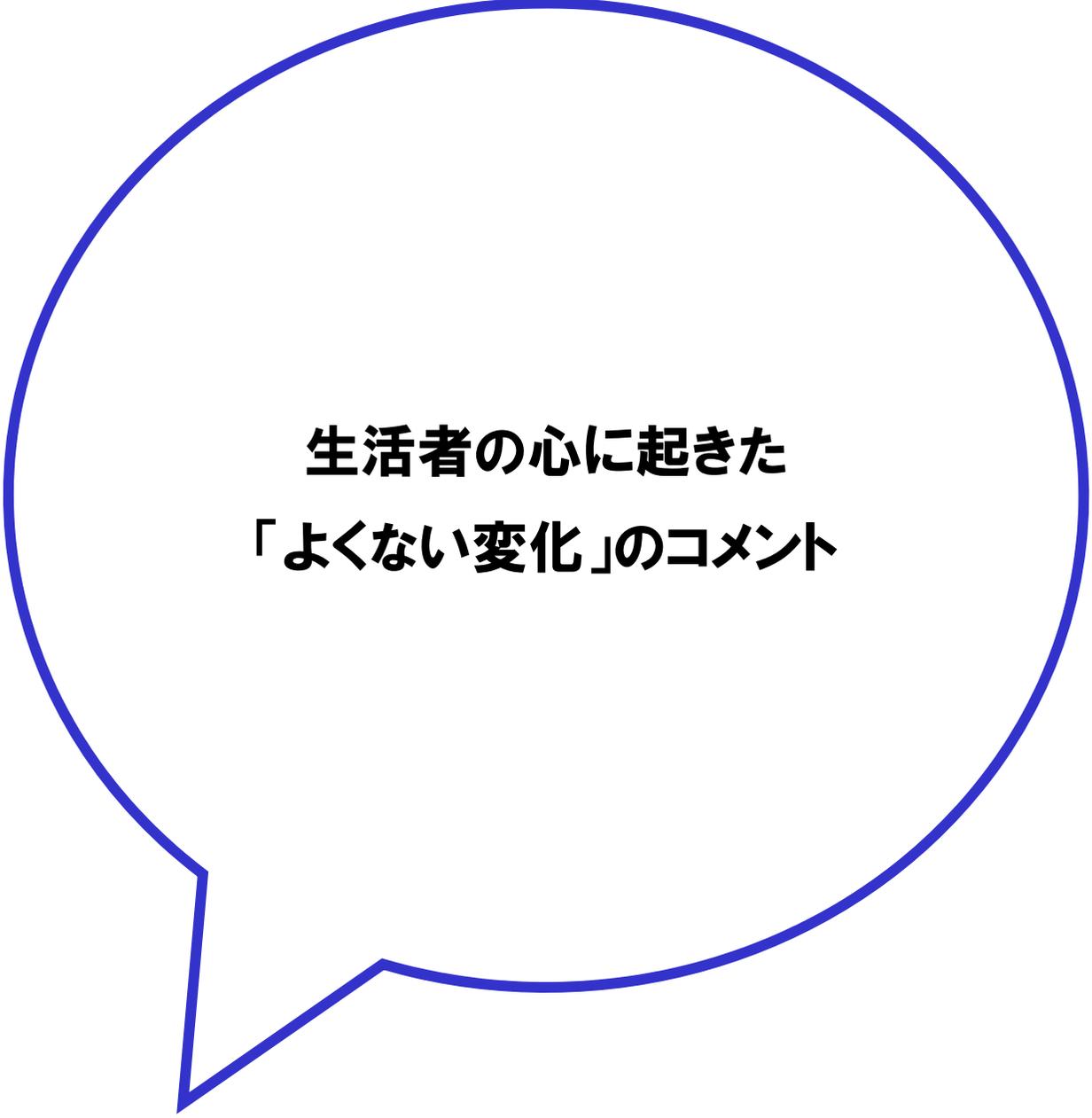
生活者の心に起きた「よい変化」のコメント 2/2

- 40代女 ほぼ毎日 すごく心が痛む出来事ですが、そのことを経験してみんなで協力しようとか、助け合わないといけない感じたり、自分で出来ることは何か考えて努力することが当然と思えるようになったり、暖かさを感じられるコメントを多く聞くようになって、いい人が多いなと感じられたこと。
- 40代女 月2-3回 どんな大変な時でも人は頑張れるんだと 勇気をもらった気がする色々な物を大切にす気持ち 節約の気持ちがうまれた
- 40代男 ほぼ毎日 食べ物を大切に感じる気持ち家族が顔を会わせられることの喜び節約やちょっとした不便には耐えられる気持ち
- 40代男 ほぼ毎日 被災者の方々、日本を支えるために自分にできることを考えた。自分にできそうなのは、自分の仕事をいつもどおりがんばっていくこと、少しでも募金をしていくことだと考えた。
- 40代男 週4-5回 助け合う精神に目覚めた
- 40代男 週1回 人間いつ死ぬか判らないので、いつ死んでも悔いの残らない人生を送ろうと思った。
- 40代男 月2-3回 被災して困っている人に心から同情するとともになにか役に立てないかかんがえることが自然とできるようになったこと
- 40代男 月2-3回 孤立していた人の心が多少緩和されてきたような気がするけど、これが普段の生活にも引き継がれたら良いと思う。
- 50代女 ほぼ毎日 資源の大切さを実感し節電など自分を甘やかさない生活を心がけたり、人のために何かしようという大きなエネルギーが自分の中に漲り、今後も自分が出来る範囲のことをしていこうと思えた
- 50代女 ほぼ毎日 普通の生活がとてもありがたいものだとして再認識しました。水や電気や食品をもっと大事に使わなければならないと思っています。西日本から電気は送れませんが節電は心掛けています。またかなり長期の支援が必要になると思うので、微力ながら募金も続けていきたいと思っています。
- 50代女 週4-5回 人の心を思いやる心が生まれた。毎日を平安に暮らせることに感謝の気持ちが生まれた。
- 50代女 月1回以下 今の生活に不満を持っていたが、それがぜいたくだと思った。何事にも感謝することを忘れていた。電気もガスも水道も当たり前だと思っていた。少しでも被災地の役に立つことなら協力したいと思った。
- 50代女 週2-3回 日本中が団結を深めようという機運が高まり、いつも後ろ向き思考の自分でさえも、皆が頑張るのなら少しは前向きに頑張らなと、という気にさせてくれたこと。
- 50代女 月2-3回 人を思いやる心。日本も捨てたもんじゃないという愛国心
- 50代男 ほぼ毎日 日本人としての一体感と助け合い
- 50代男 ほぼ毎日 ●外国人の日本人に対する評価の一部が変わったように思う。●日本人の持つ我慢強さ、秩序など、普段気が付かなかった利点が良くわかった。●政治、原発に関する議論が、日常的に行われるようになった。●節電から節約、無駄を排除することに目が向くようになり、実際に行動するようになった。●日本が震災国であること、台風など自然災害から逃げられないことを強く意識するようになった。そのために日頃の備え、政治・行政の在り方など、根底から考えるようになった。
- 50代男 週4-5回 日本という国や日本人というものがいとしくかけがえのないものであったということ再認識している。この困難な時期に一丸となって取り組んでいることに誇りを感じる。
- 50代男 週1回 自分だけのことを考えるのだけではなく震災により多くの犠牲者や避難された方を考えると自分のことはちっぽけなことだと思う。自らの家を流されてもなお人命救助に携わる方達をみるにつけ、なんとかしてあげたいという気持ちがわき出てくるから。
- 50代男 月2-3回 1.政治家、官僚、関係企業幹部の想像力の無さが分かった2.日本人な優しさ我慢強さの再確認よって、政治家、官僚に対する不信感とともに、ますます日本(人)が好きになった
- 50代男 月1回以下 煩悩が少し弱まった気がする。
- 60代女 ほぼ毎日 震災に遭われたかたがたに 自分でできる方法でお手伝いをしたいと思った
- 60代女 週4-5回 今迄戦争を体験して居るにも拘らず便利で自由な毎日が続いている日本人全体で東日本地震を教訓にして総ての面で戦後からの復活を若い人は戦後の悲惨さを知らないと思います(映画、テレビ)こんな物は絵空事です。もう一度日本人として一人独り生活を見直して日本列島を復興したいと思います特にリーダーたる政治家、霞が関関係お金持ちの方々にはしっかりかじ取りをして頂きたいと思います。
- 60代女 月1回以下 便利さや快適さを追求する生活はやめて、今後の生活を根本から見直したいと思うようになった。
- 60代男 ほぼ毎日 思いやりの気持ちが芽生えた
- 60代男 ほぼ毎日 日本国の国民であるといふ自覚が高くなった。
- 60代男 週4-5回 復興に協力したいという気持ちがほとんどの日本人に気持ちにあふれていること。その事で日本人がまとまった事。
- 60代男 週2-3回 人は繋がって生きていくこともっと助け合わなくてはいけないこと強い意思を持つこと
- 60代男 月2-3回 今まで無駄に電気を使っていたことに気が付いた。これからは全ての無駄を無くし、災害に対する備えをやろうと思う。
- 60代男 月1回以下 被災地の方を長期に渡って支えていきたい

みんなで助け合おうとする気持ち

日本を誇りに思う気持ち

いまの普通の生活に感謝する気持ち



**生活者の心に起きた
「よくない変化」のコメント**

生活者の心に起きた「よくない変化」のコメント

- 10代女 ほぼ毎日 震災にあつて大変な思いをしている人がいるのには私は普段通りに暮らしていて良いのだろうか、と少し申し訳なく感じるようになった。申し訳なく感じて、何となく気分が晴れない。
- 10代男 週2-3回 地震が起きている(揺れを感じている)ような錯覚に常におそわれている。その度、蛍光灯のヒモを見て「なんだ、気のせいかな」と思うのが日常になってしまっている。
- 20代女 ほぼ毎日 デマがあちらこちらで出ているということで、何を信じればいいのかわからない。今は日本国民全体でこの危機を乗り越えていかねばならないと思うので、デマで不安をおったり、人の善意の行為を踏みにじったりして欲しくない。
- 20代女 ほぼ毎日 悲観的になっている人が多く、考え方がネガティブな方向に動いてしまっていると思います。起きてしまったことを今さら嘆いても何も始まらないし、立ち上がらなければ倒れたままなのに、現状維持より後退を選んでもう事が残念です。
- 20代女 週4-5回 地震が怖くて未だに眠れない日があったりする
- 20代女 週2-3回 こんなに大きな被害がおこっているのに、何もできない自分を悔しく思うときがあった。政府のあまりにも頼りなさすぎる態度を見せつけられるたびに、やりきれない気持ちが正直ある。
- 20代女 月1回以下 地震関連のニュースを見ると気分が滅入り、涙が出てくる。
- 20代女 月1回以下 電気の供給が例年通りいかないこと様々な催しの自粛・中止が出てしまっていること
- 20代男 ほぼ毎日 よいことと同時に起こったというか表裏一体をなすよくないことは、やはり暗一くなつたこと。災害の酷さそれ自体に対しては勿論。それによって浮き彫りになった人の愚かさ醜さに対しても。数多く出回るデマ、風評被害、報道被害、このごにおよんで足を引っ張るばかりが目的のようなマスコミの姿勢等、よくない心持ちになった。
- 20代男 ほぼ毎日 地震後、地震や津波、放射能汚染などによる強い不安と恐怖に襲われている点。原発事故で電力供給の不安定による停滞と苛立ちだけでなく、空気や水、農作物、魚介類など人間が口にするものまでも放射能汚染がされてしまい強い憤りと今後の強い不安を感じている。地震発生以前よりも国や政治家、官僚、東京電力に対してさらに強い怒りを持ったのと信頼できなくなった。
- 20代男 週1回 経済活動が消極的になっている。無駄な外出とか寄り道とかをしなくなった。
- 20代男 週1回 仕事が減った給料が少なくなり生活が厳しくなった
- 20代男 月1回以下 マイナス思考が強くなった気がする。
- 20代男 月1回以下 未来への不安
- 30代女 ほぼ毎日 はじめての震度5強体験、原発事故、それに伴う株価暴落。強烈なストレスに襲われたが、具体的に被災していないのにストレスに襲われている場合じゃないと「いつもの生活」を頑張ろうとしたら、地震一週間後にストレス性障害で倒れた。しかも株価は暴落後爆騰し、暴落時に買わなかった事で大もうけし損なった事もストレスに拍車をかけた。
- 30代女 ほぼ毎日 余震が頻繁に起こる中寝不足気味になり、計画停電でフタワタして疲労がたまり気味。久々の眩暈が起こって通院中。
- 30代女 週2-3回 いつまた大きな地震が来るかもしれないという恐怖感が消えない。これから出産するにあたって、不安な事が多すぎる。
- 30代女 週2-3回 日常生活にたいする不安。
- 30代女 月2-3回 なんでもない時に胸が重苦しくなって涙ぐんだり、冷静に振り返ってみれば些細なことなのに、周囲の言動にいらだったり、いらだつことにショックを受けたりと、感情がネガティブな方に向かうようになりました。
- 30代女 月1回以下 自分は被災者ようにならなくて済んでしまったと思う気持ち
- 30代男 週2-3回 今後、日本の景気が回復するのに相当の年月が必要だと思うし、いまだに福島原発が安定しないので毎日気が滅入る
- 30代男 月1回以下 妻の体調が悪くなった。
- 30代男 ほぼ毎日 将来に対する漠然とした不安。
- 30代男 ほぼ毎日 テレビやラジオ、新聞などの報道を見聞きするうちに、被災していない自分も、精神的に不安定になっているように感じている。
- 30代男 週2-3回 この地方の地震災害の発生率の高まりによる不安感が増大し、大きな不安に見舞われた。テレビで毎日報道される被災地の悲惨な状況を見て、理由はわからないが、心の動揺や不安感が募り、少し精神的に不安定な状態になった。
- 30代男 月2-3回 すべてのことに対する無力感を感じている。

生活者の心に起きた「よくない変化」のコメント

- 40代女 ほぼ毎日 買いだめはよくないと分かっているのに、何となく不安になって買う量が増えた。一週間に一度まとめ買いをしていた、牛乳や納豆を毎日のように買いに行くようになって(本数制限があるので)ついでに他の物も買ってしまうようになった。
- 40代女 ほぼ毎日 パニック障害が治りかけていたけど、震災の日以来元に戻ってしまった。テレビを見たり、ラジオを聞いていたりするだけでも動悸がする。生きているのが申し訳なく感じる。
- 40代女 週4-5回 遊んだりしなくなかった。
- 40代女 週2-3回 いつも不安感がある。精神的に不安定
- 40代女 月1回以下 仕事のステップアップや転職をあきらめた。結婚についても話がすまないので元気が出ない。
- 40代女 月1回以下 風評被害や、情報の曖昧さ、自粛のしすぎで、経済が心配。物資不足、すべてのものが値上げ、義援金詐欺など。計画停電も地域の差がありすぎ、私の地域はいつも停電していたので仕事にならなかった。
- 40代男 ほぼ毎日 家族を優先的に守ろうと思う気持ちが自己中心的な考えにつながってしまう限りお金を使わずに生活しようとする気持ちが消費滞りや経済悪化につながってしまう
- 40代男 ほぼ毎日 地震への危機感、被災地に関する報道を見ることによる憂う感、自分の今の状態(何もできない)に対する不甲斐なさ
- 40代男 週2-3回 いつか自分も被災するのではとおもうようになった
- 40代男 週1回 気分が落ち込んだ
- 40代男 月2-3回 さらに大きな天災がおこり日本はだめになっちゃうと思うことがよくあること
- 40代男 月1回以下 人間の無力さ、自然に対しスケールの違い、を感じる。
- 50代女 ほぼ毎日 今後起きるであろう自然災害に対する恐怖。被災地の方が「死んでも地獄、生きていても地獄」と話していたのを聞き、自分もそのどちらかの地獄を味わうのではないかとこの恐怖が常に隣り合わせにある。
- 50代女 ほぼ毎日 何をしても心から楽しめない気がしている。
- 50代女 週2-3回 なんでもかんでも自粛ムードになにかちがうんじゃないと思うところ よくないとも思っていないというも違う気もするが
- 50代女 週2-3回 原発への恐怖と断固否定的な気持ちの高まり。地域的には離れてはいるが、恐怖心は日々高まっているし、原発反対の気持ちも毎日、新聞、TV、ネットの色々な情報を見聞きすることによって高まっている。
- 50代女 月1回以下 ドキドキする、何となく不安感がある、ニュースを見たくない。
- 50代女 月1回以下 東日本大震災の被害にあわれた人の気持ちを思うといたたまれない気持ちになったのと、漠然とですが日本のゆくすえに不安を感じるようになり心がふさぐことが多くなりました。
- 50代男 ほぼ毎日 気持ちが重くなる
- 50代男 ほぼ毎日 原発問題と日本経済の後退。多くの痛ましいこと。これらが暗くさせている。
- 50代男 週2-3回 日本の将来に対する大きな不安
- 50代男 週1回 頑張っている、ある日突然生活が崩れてしまう可能性がある
- 50代男 月2-3回 サービス業なので、自粛、経済停滞などによる仕事の影響が懸念される。
- 50代男 月1回以下 政府や東電に対する絶望感。怒りと共にある種の虚しさを感じる。そして東海、東南海、南海地震に対する不安感も増した。かといって何をすることも出来ない。
- 60代女 ほぼ毎日 気持ちが落ち込み、家に閉じこもりがちになっている。
- 60代女 週1回 何時でも、どこでも自然災害は、起こりうる、自分の身に危険がいつ起こるか常に不安だ。
- 60代女 月1回以下 日々の意欲が低下している。
- 60代男 ほぼ毎日 人の心を忘れて生活していた。災害は予期できないが、必ず起こることは認識していた。人の心と同じに、それを自分のこととして受け止めていたかは疑問である。特に残念なことはマスコミの「風評被害」に対する行動とその基本にある認識である。自らがその発信者であることを忘れていた。先日北茨城市のアンコー鍋の報道で強く感じた。誠実な報道を強く求める。
- 60代男 週2-3回 どうしようもない国をはじめとする行政、隠匿体質のたため企業である東電、跋扈するたためをやるマスコミ。この三者のためにどれだけ被害者が迷惑をこうむっていることか、これをまともに伝えるところがどこにもないという状態！！
- 60代男 月2-3回 地震、津波に対する恐怖感が大きく膨らんでいる。妄想に近い恐怖感を植えつけられた。

地震・災害や未来への不安

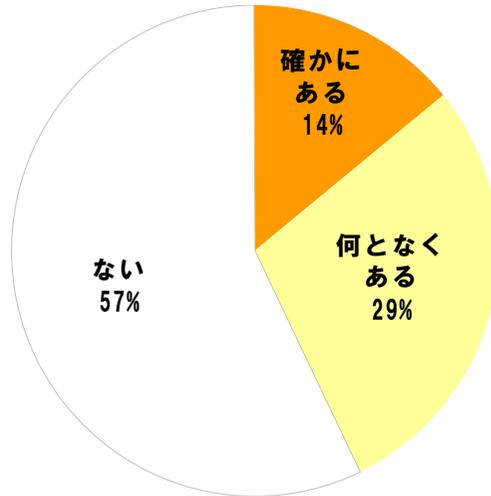
そこに起因する鬱の気持ち(マイナス思考)

**普通に暮らす自分が被災地の人に申し訳ないという気持ち
(生き残ったものの罪悪感)**

震災後の生活者に起きた、食品／食べ物に関する心境の変化

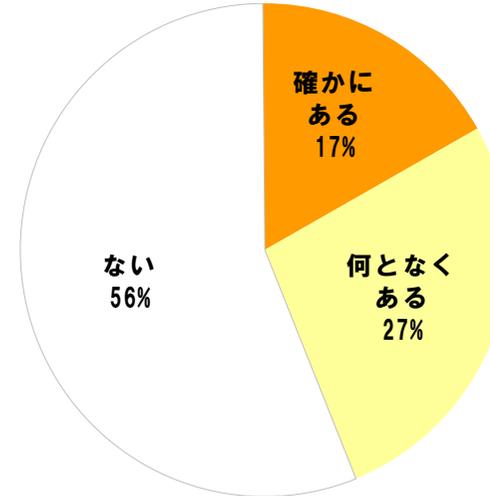
震災後の心境変化(食品/食べ物について)

3/11に起きた、東北地方を中心とする大地震(東日本大震災)の後、あなたの食品や食べ物に対する考え方や気持ちには、何らかのあなたがよいと思える変化がおこりましたか。



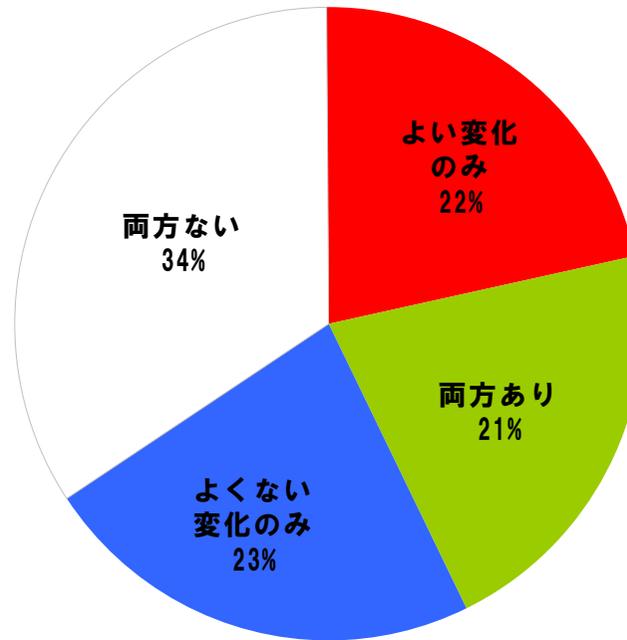
N=600

3/11に起きた、東北地方を中心とする大地震(東日本大震災)の後、あなたの食品や食べ物に対する考え方や気持ちには、何らかのあなたがよくないと思う変化がおこりましたか。



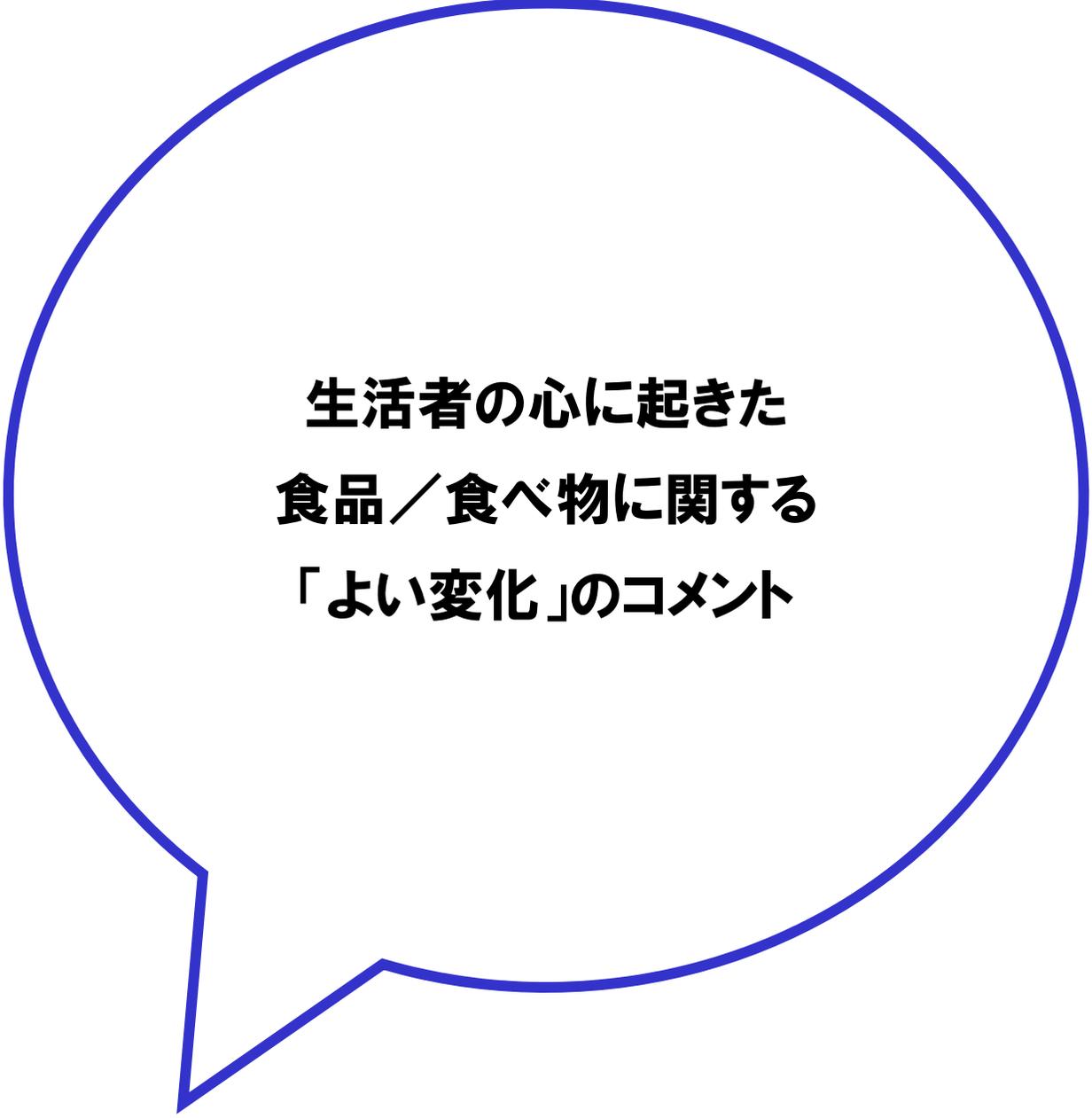
N=600

**震災後、食品や食べ物について、
4割強の生活者の心に何らかのよい変化が起こる一方で、
同じく、4割強の生活者の心には何らかの悪い変化も起こった。**



N=600

全体で見れば、生活者の2／3のひとの心に何らかの影響があった。



**生活者の心に起きた
食品／食べ物に関する
「よい変化」のコメント**

生活者の心に起きた、食品／食べ物に関する「よい変化」のコメント 1／2

- 10代女 週1回 出荷規制のかかっている農家の方のお話を読んだり聞いたりすると、大切に育ててるのだから大切に食べなくてはならない
- 20代女 ほほ毎日 粗末にしない
- 20代女 ほほ毎日 なんでも、ありがたく大事に食べる
- 20代女 ほほ毎日 同じ野菜などを買うにしても、東北地方のものを選んで食べようと思うようになった。
- 20代女 ほほ毎日 今まで十分に満たされていたものが急に無くなる事を経験したことにより、物の価値観を改めて「もったいない」の精神をより強く持てるようになりました。
- 20代女 ほほ毎日 日本の農業や酪農、漁業について考えさせられたこと、食事や食品を大切に思うようになったこと
- 20代女 週4-5回 分かっていたことですが、大切に育てたり、作られたりしている食べ物たちなので、農家や、漁師の皆さんのことを考えると胸が痛いです。放射能汚染は怖いとは思いますが、あまり過ぎるのもどうかと思う次第です。私は、幼少期を広島で過ごしました。原爆が投下されたあの街も、ずいぶん前に豊かな土地に戻っています。今、放射能が高まっているのは事実ですが、だからといって、福島周辺を死んだ土地のように言うのはやめてあげてほしい。
- 20代女 週1回 まとめ買いは辞めて、節約しようと思った
- 20代女 月2-3回 前から食材は無駄にしなかったが、さらに無駄なく頂くようになった。
- 20代女 月1回以下 コンビニ・スーパーで食品を買うとき買いためしないように気をつけている
- 20代男 ほほ毎日 被災地に食料送ろうと考えた
- 20代男 月1回以下 風評被害を受けた物がもったいない。報道の仕方を少しは考えてほしい。ペンは剣よりも強いことを自覚してほしい。
- 20代男 ほほ毎日 震災を遠くから目の当たりにして、当たり前が崩れて、こうして食べられることがありがたいと。
- 20代男 週1回 食べものがあることの大切さがわかった
- 20代男 月1回以下 生産、流通に関わる人への感謝
- 20代男 月1回以下 水やカップラーメンの大切さが分かった。
- 30代女 ほほ毎日 粗食をしても貧乏くさく見えなくなった。
- 30代女 ほほ毎日 福島県産を積極的に食べたい
- 30代女 週4-5回 温かいもの、好きなものを食べられる幸せ、ありがたみを感じるようになった
- 30代女 週2-3回 食べ物を腐らせない、肉など小分けに冷凍したり、食べ物を大事にしようという思いが強くなった。
- 30代女 月2-3回 食べるものは粗末にしない。腹いっぱい食べるのではなく腹8分目...野菜については国産品なら何でも食べよう！！
- 30代女 月2-3回 間違った認識で風評被害を引き起こさないよう、今までと同じように東北や茨城などのお野菜を積極的に買い、消費している。必要のない買いためをしない。当たり前のことだとおもう。
- 30代女 月1回以下 食べ残しをせずに大切に食べるように心がけている
- 30代男 ほほ毎日 大切に食べる
- 30代男 ほほ毎日 無駄遣いが無くなった
- 30代男 週4-5回 買占めを行わずに、その時(日)に必要な分だけの食料を買うようにしていた。(水は元々まとめ買っていたので特に購入することはなかった。)
- 30代男 月2-3回 1つの食べ物をきれい食べるようになった。
- 30代男 ほほ毎日 洗って食べれば何も問題無いのに、風評被害が起こっています 出来るだけ被害に遭われた付近の農産物を摂取する様に心掛けている
- 30代男 週2-3回 被災者の方々が、飲み水や食料でご苦労されているのを見て、毎日、十二分に水や食料が身の回りにあるということへの感謝ともったいなさを感じるようになった。
- 30代男 月2-3回 普段と変わらず食事できることを有難いと思うようになった
- 40代女 ほほ毎日 いつも新鮮で美味しい生鮮食品を届けてくれる生産者の方たちが、いわれのない風評被害で苦しむのはいたたまれなくて、過剰反応したり購入を控えたりすることは絶対にやめようと思った。
- 40代女 ほほ毎日 日々、温かい物を口に(簡単に)出来るという生活を毎日送れていること。

生活者の心に起きた、食品／食べ物に関する「よい変化」のコメント 2/2

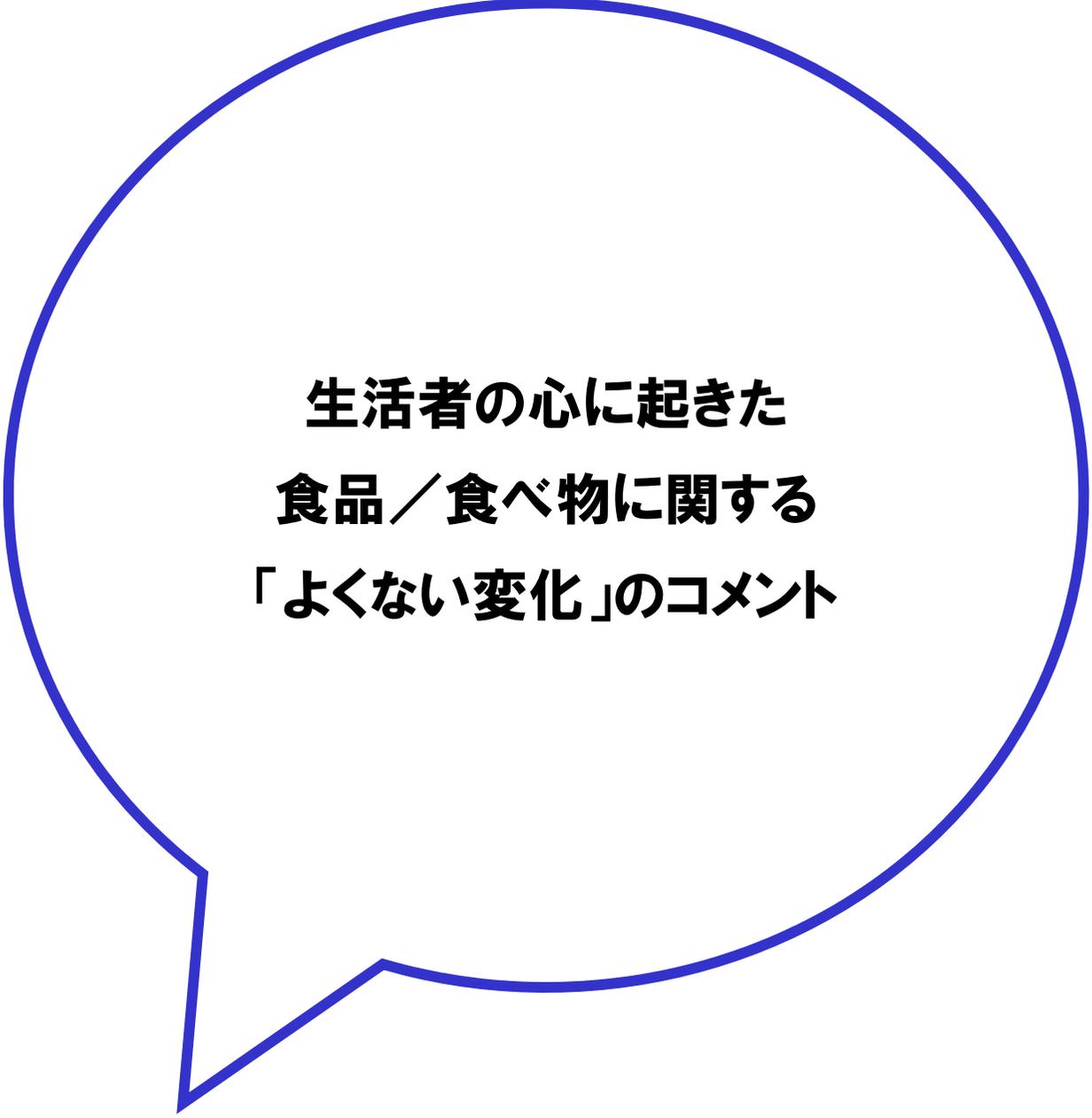
- | | |
|------------|--|
| 40代女 月2-3回 | 食べ物を大切にしようと思う気持ちがつよくなった |
| 40代女 ほほ毎日 | 何かあってからだ遅いから、日頃から多少の準備はしておくべきだと思います。買いだめしてる人を見ても、私は一週間もしたら落ち着いて来るからと買いませんでしたが、それで大丈夫でした。なので、はっきりしない言葉にまどわされずきちんと確かめよく考えて行動する事が大事ですね。風評被害の人を増やさないよう、正しい判断をする事。作れる物は自分で作ればいいだし、慌てないで落ち着いた行動をする事でしょうか。 |
| 40代女 週4-5回 | いつでも食べたいものが手に入るの、とても大変なことだったのだと認識。ムダにしないように考えて買うようになった。 |
| 40代女 月2-3回 | 食品を今まで以上に大切に食べるよう、自然と心がけている。 |
| 40代男 ほほ毎日 | 食べられることが幸せに感じた自宅に保管してある保存食を支援物資として提供した |
| 40代男 ほほ毎日 | 注文のし過ぎや、買いすぎをしない。 |
| 40代男 ほほ毎日 | 今まで以上に余計な買い物をしなくなった。 |
| 40代男 週4-5回 | 普通に食べれることに感謝。 |
| 40代男 週1回 | 日ごろのありがたみ |
| 40代男 月2-3回 | 普段、何となく買っていた食糧が急になくなると、このような食料は大切なんだと思いました。 |
| 40代男 月1回以下 | 無駄遣い禁止 |
| 50代女 ほほ毎日 | 今までは、冷蔵庫にたくさんものが入っていないと不安でしたが、今食べるものがあればよいと思えるようになりました。食生活に対して、年を経るにつれだんだんと贅沢になっていたようですが、最近は、ご飯とおかず一品でもできたてのものが食べられればよいと思うようになりました。温かいものを加温pくで食べられることの幸せを感じるようになりました。野菜などは、国産のものを食べるように意識していましたが、今では、茨城、千葉のものがあれば必ず買っています。 |
| 50代女 ほほ毎日 | 安いからと買っては見たものの冷蔵庫の奥にしまいこみ賞味期限が切れたりして食べられなくなったものを無くすように、必要分だけを購入するようになった。 |
| 50代女 週4-5回 | 地震の後の食糧不足のときはとても不自由を感じたので、今、なんでもそろっていることに有り難く思っている。 |
| 50代女 週4-5回 | 避難所の人たちが一日おにぎり1個しか配給されていないのをニュースで見て、心が痛んだ。自分たちが3食食べているのが申し訳なく思った。 |
| 50代女 月1回以下 | 食べ物を大事にするようになり、食事なども残さないように作ったり食べたりしています。 |
| 50代女 月1回以下 | 被災者がおにぎりやパンしか食べていないので、自分も贅沢しては申しわけないと思い、おかずを減らしている。 |
| 50代男 ほほ毎日 | 毎食欠かさず食事が出来ることへの感謝の気持ちを新たにすると同時に、余分な量を作らず、残さず感謝して食べます。 |
| 50代男 ほほ毎日 | 少なくとも、供給者に感謝する気持ちが強くなった。 |
| 50代男 週2-3回 | 食べ物に対して感謝の気持ちが強くなった |
| 50代男 週4-5回 | なるべく無駄にしないで食べれるものを食べるようにする節約の気持ちが大きくなりました |
| 50代男 月1回以下 | 震災にあわれた方が、食べ物や飲み物に不自由している状況と思うと、贅沢はできなくても不自由なく暖かいものを飲み食いできていることをありがたく思う。 |
| 50代男 月1回以下 | 食品を無駄にすることがなくなった |
| 60代女 ほほ毎日 | 毎日3食食べられることに感謝の気持ちを持つようになった。食材を無駄にしないようになった。 |
| 60代女 週2-3回 | 震災で避難生活を送っている人たちの事を思うと、毎日不自由なく食べられることを幸せだと思う。 |
| 60代女 月1回以下 | 風評被害の野菜を購入して、下支える気持ち |
| 60代男 ほほ毎日 | 食品もいつでも欲しいものはないということを理解できるようになった。 |
| 60代男 週2-3回 | 特に原発汚染地域の産品には気の毒に思うし、もうこの年(65)になって発症を気にすることもないので買えるものなら積極的に食べてあげたいと思う。関西の安全な新鮮野菜を運んであげられる手立てがないものかと真剣に考えている。 |
| 60代男 月2-3回 | 今の幸せを噛み締めたい |

食べ物を大切に思い、無駄にしない気持ち

生産者への感謝の気持ち

普通に食べ物がある幸せ

風評被害に巻き込まれず、立ち向かう気持ち



**生活者の心に起きた
食品／食べ物に関する
「よくない変化」のコメント**

生活者の心に起きた、食品／食べ物に関する「よくない変化」のコメント 1／2

- 20代女 ほほ毎日 被災地域の食品は購入しない。
- 20代女 ほほ毎日 放射能がこわいです
- 20代女 ほほ毎日 スーパーに行っても、在庫がなく、また、お客さんが殺気立っている。
- 20代女 週4-5回 関東地方の野菜や肉、卵、魚、水道水などすべてにおいて放射能が含まれているのではないかと不安で買わないようになった。
- 20代女 週2-3回 原発・放射能と連日放送されているせいで、関東の野菜や魚に対して警戒感がうまれた。「大丈夫」だと思っはいるのだが、やはり買うときに「うっ」とためらってしまう。
- 20代女 月2-3回 関東圏で作っているものは極力体内に入れたくないと思う。
- 20代女 月1回以下 不信感から何を食べていいのかわからない
- 20代男 ほほ毎日 買いだめ傾向、食品の風評被害
- 20代男 ほほ毎日 まずライフラインが滞ったため普段にはありえない物資の不足が起こった。原発による放射能汚染が人間が口に入れるもの全てを危険物に変えてしまい生活ができなくなってきている。今まで以上に健康への気配りと不安が強くなった。
- 20代男 週4-5回 ホウレンソウ、生乳、魚など次々と放射性物質が確認されていること。
- 20代男 週1回 食べ物の安全性について不安を感じる
- 20代男 月1回以下 すべて放射線物質に汚染されていると思ってしまう
- 20代男 月1回以下 放射性物質が基準値を超えているものは流通しないと思うが、今の国は信用できないし、必ずしも全種類を検査しているわけではないと思えるので、被災地産のものはあまり購入したくない。
- 30代女 ほほ毎日 私は買占めをしてなくて、普通に買い物をしたいのに、一部の人が買い占めたために商品が減ってとても困った。「食品や食べ物」に対してではなく、買いあさる人に対して嫌いな気持ちになった。
- 30代女 ほほ毎日 原発の放射能漏れによる、食品不安
- 30代女 週2-3回 放射能汚染が気になる。特に今出産を控えているので、余計に気になる。
- 30代女 週2-3回 テレビの情報にふりまわされてしまう。
- 30代女 月1回以下 被災地が産地の野菜を大丈夫だと分かっているのに、購入するのをためらってしまうようになった。
- 30代女 月1回以下 放射能汚染による不安、どの程度の予防をすればいいのか、情報の正確さ
- 30代男 ほほ毎日 津波で冠水した農地酪農地は数年単位で使いものにならない。水産物が揚がらないし捕れても加工もできない。またその全ての回復を放射線物質による汚染が阻み不可能にする。これからのことを考えると気が気でない。
- 30代男 ほほ毎日 食料品の品揃えが悪くなり買いたいものが買えなくなった。放射能汚染で食べられるものが減ってきている。
- 30代男 週4-5回 水道水を飲まなくなった。輸入食品や災害以前に生産された食品を中心に生活するようになった。
- 30代男 週2-3回 野菜を購入するときなど放射性物質の含有量が心配で野菜をあまり買いたくなくなった
- 30代男 月1回以下 政府の食品の放射能汚染について、きちんと公表されていないと感じる。
- 30代男 月1回以下 コンビニやスーパーの品薄で欲しい物が、買えなかったこと。
- 30代男 ほほ毎日 奪い合い
- 40代女 ほほ毎日 原発問題による放射線汚染によって食べれないという心配
- 40代女 ほほ毎日 原発事故での、野菜の産地の件で、風評と分かっているも「大丈夫かな？」と思い購入することを少し考えてしまった事。
- 40代女 週4-5回 いつも買っていたミネラルウォーターが買えなくなってしまったので、少し憂鬱になってしまう。
- 40代女 週2-3回 私はスーパーで働いているのですが、震災後、水やカップラーメンやお米を買い占めるお客様が沢山いました。お店の棚が一時からっぽになりました。送ると言ってる人もいましたが、あきらかに自分用に買っている人も多かったです。こちらへんは何の心配もないというのに。。。あっても、自分さえよければいいような考えにげんりしました。
- 40代女 月2-3回 つい買占めをしたくなる 納豆が手に入らなくなるのではという不安で

生活者の心に起きた、食品／食べ物に関する「よくない変化」のコメント 2/2

- 40代女 週2-3回 備蓄米を国が減らしてしまったことで同ような災害が同時期に起こっても対応できるのか、地震にきちんと対応してなかったために原発で事故が起こり、放射能汚染で魚や米や野菜など普通に摂取して大丈夫なのか、離れているからといって今はもう安心できません。九州まで汚染されるという話ですが、自分よりも弱いペットが心配です。
- 40代女 月2-3回 放射能汚染への知識が無い為を感じる漠然とした恐怖心から政府が安全だと発表している食品を信じられないこと
- 40代男 ほぼ毎日 手に入らなくなってきたことから買占めに走りたくなる気持ち安全性を疑う気持ち
- 40代男 ほぼ毎日 いま ニュースで海に放射能物質を垂れ流していること自体良いわけがない。魚を口にするのに怖さを感じる。
- 40代男 週1回 福島県産の野菜を避けたほうがいいかなあと思い始めた。
- 40代男 週1回 現在は自粛しているが地震直後に買いだめをしようとしたこと。
- 40代男 月1回以下 品薄。値上げ。放射能汚染
- 40代男 月1回以下 いろいろな食べ物や水、そして海までも汚染されたことで、食べられるものがどんどん減っていく。
- 50代女 ほぼ毎日 被害が少なかった地域でありながら、大量の買占めや品不足に陥りそれがますます人々の不安をおり、ここで買わなければという不安を自分も持つようになり、必死に食料を探して、スーパー巡りをしてしまう
- 50代女 ほぼ毎日 常に放射能汚染を考える
- 50代女 週4-5回 毎日の原発での良くない報道で野菜より魚の安全性が心配である。
- 50代女 週2-3回 食べ物への放射能汚染の不安が高まった。
- 50代女 週1回 買いだめをする人が多い為なのか、震災後の流通関係のせいなのか、スーパー等での食料品不足が目につきます。
- 50代女 月2-3回 買いだめは しない事。放射能だって 広島や長崎で被爆した人すべてに被害があったわけではなく、生きている人も居るのだから 怖がらずに 福島や茨城の野菜でも食べるように、、でないと 畑も水田もだめになる。食べたら便秘をせずに排泄すれば良い
- 50代女 月1回以下 放射の汚染に対する不安や、食べ物の安定供給に対する不安。
- 50代男 ほぼ毎日 牛乳や豆腐・納豆などの商品が販売されてなかった。
- 50代男 ほぼ毎日 放射能の影響がないことはわかっているが、子供には野菜、水を摂取させないようになった。
- 50代男 週2-3回 食の安全に対する不信感
- 50代男 週2-3回 野菜や肉の産地に敏感になっていること。よくないことだとわかっているが、自分や家族の健康被害を考えると、つつい放射能の影響を考えて、買い控えや産地による選別をしてしまっている。
- 50代男 月1回以下 風評被害により国内の食料供給が不完全となり不便となったこと。外食においても条件が悪くなっていること。あらゆる物価があがっている。
- 50代男 月1回以下 風評にのりやすい。
- 60代女 ほぼ毎日 子供たちが、安心して口にしている物がだんだん減っていくだろう。加工食品も手軽に口にできなくなるだろう。不安感が強くなった。
- 60代女 週4-5回 風評被害で野菜や果物にまで害がおよび価格が暴落したりするのは一生懸命育てている農家の人々が気の毒に思いました。また、これからは魚貝類におよぶのではないかと気になっています
- 60代女 月1回以下 安心して食べられない
- 60代男 ほぼ毎日 風評被害である。これに対する政治の認識・責任がない。このときに一番必要な情報がマスコミを含めてまったくない。
- 60代男 週2-3回 野菜や食品の放射線量がいくら許容値、基準値以下で健康に直ちに影響ないといわれても、少なくとも積極的に摂取する気にはなれない。北関東や東北の農家の人達には悪いが、そうした気持ちを風評被害と片付けられるのはやや心外。数値の如何にかかわらず、食品の安全性に対する不安感が増えたのは間違いない。
- 60代男 月1回以下 セシウムの半減期が30年と非常に長いので、子供や孫には十分気をつけるよう注意している

放射能への恐怖心

(被災地域産の食品に対する避けたい気持ち)

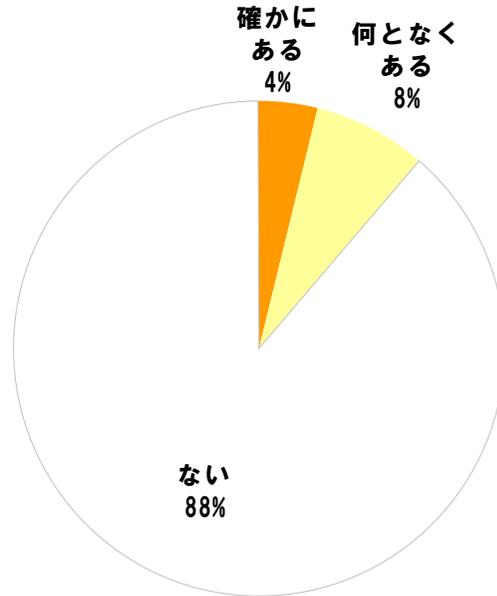
買いだめするひとへの嫌悪感

でも、自分も買いだめしたくなる気持ち

震災後の生活者に起きた、牛乳に関する心境の変化

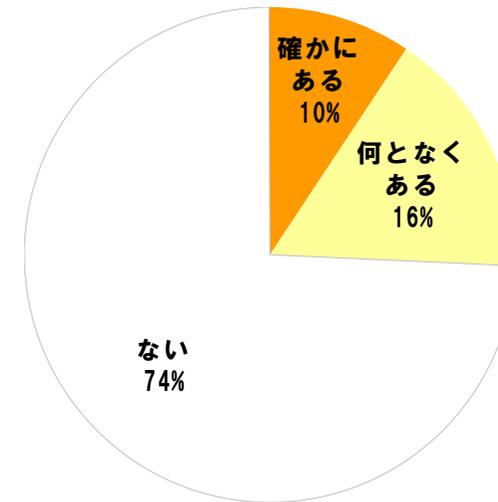
震災後の心境変化 (牛乳について)

3/11に起きた、東北地方を中心とする大地震(東日本大震災)の後、
あなたの牛乳に対する考え方や気持ちには、
何らかのあなたがよいと思える変化がおこりましたか。



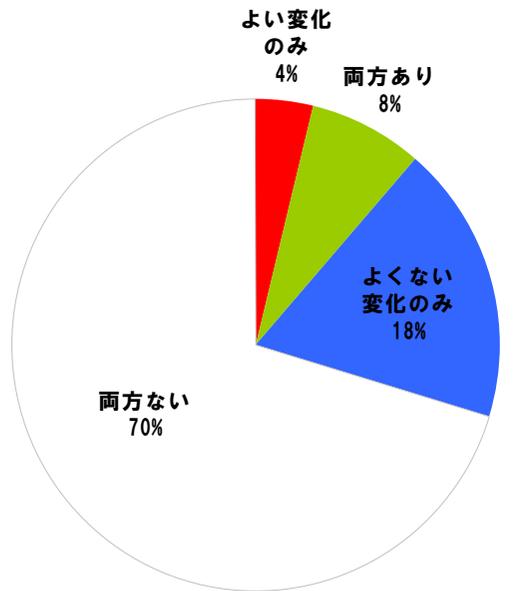
N=600

3/11に起きた、東北地方を中心とする大地震(東日本大震災)の後、
あなたの牛乳に対する考え方や気持ちには、
何らかのあなたがよくないと思う変化がおこりましたか。



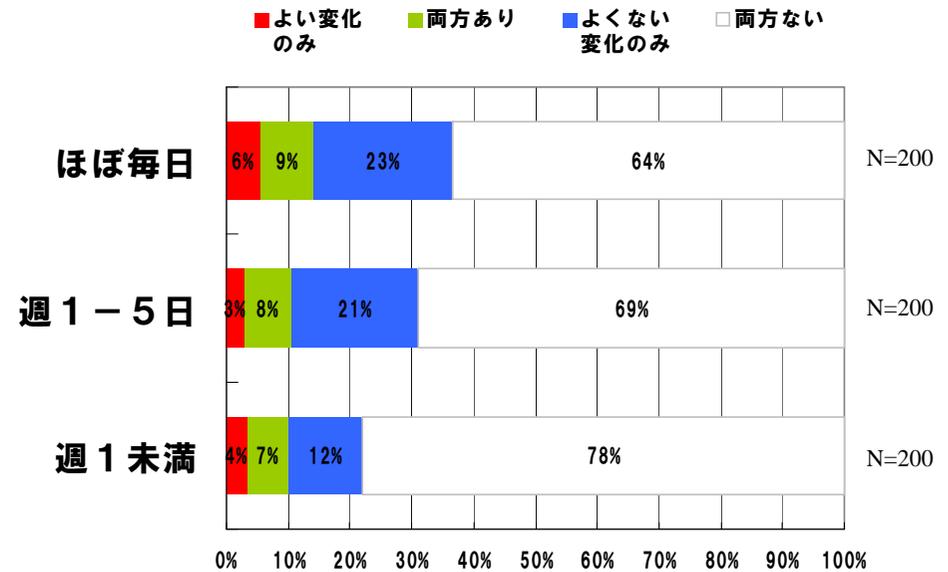
N=600

震災後、牛乳に対する心境に変化が起こった人は決して多くない。
ただし、よい変化の起こった人が1割強なのに対して、
よくない変化の起こった人は1/4で、よくない変化のほうが強め。

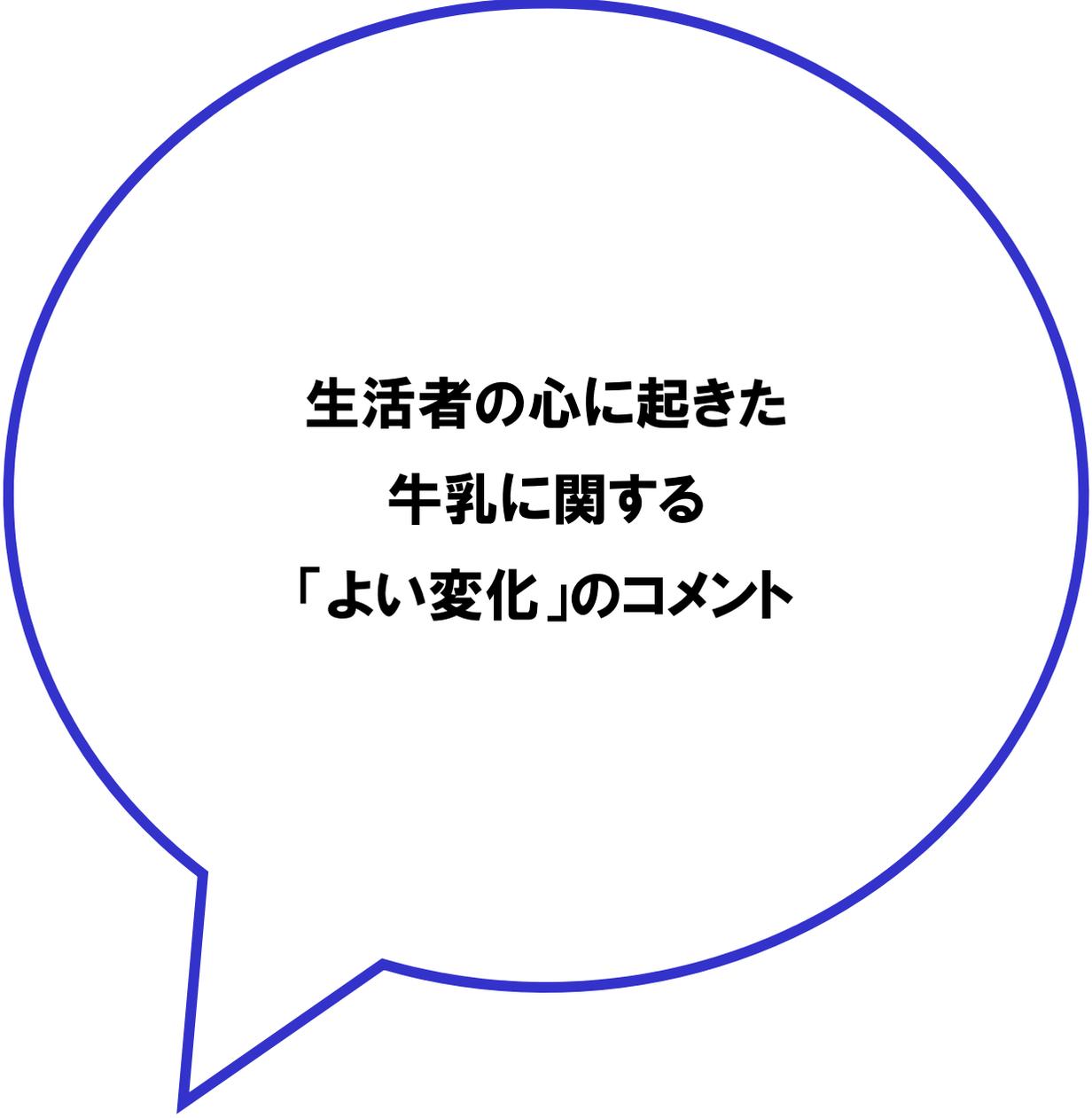


N=600

牛乳飲用頻度



全体で見れば、生活者の3割の心に何らかの影響があった。
 (たくさん飲んでいる生活者ほど、特によくない心境変化が顕著)



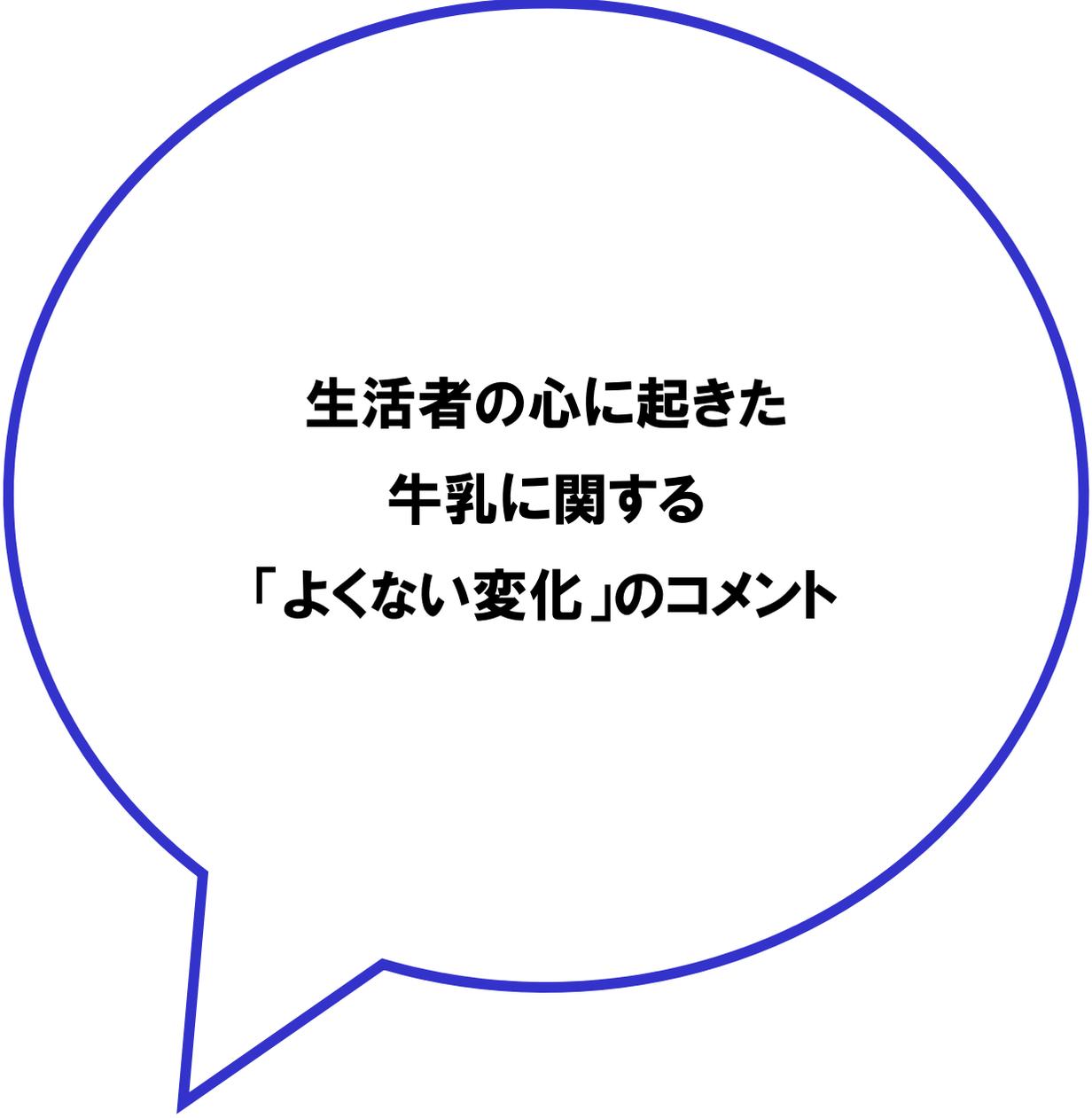
**生活者の心に起きた
牛乳に関する
「よい変化」のコメント**

生活者の心に起きた、牛乳に関する「よい変化」のコメント

- 20代女 ほぼ毎日 ものすごく大事に使っている。牛乳はあって当たり前だったのが貴重品になった。
- 20代女 ほぼ毎日 毎日飲んでた牛乳が売り切れることが多く、改めて牛乳は大事だと思った。
- 20代男 月1回以下 風評被害。もったいない
- 20代男 月1回以下 どこで取れた牛乳かどうかを見るようになった。
- 30代女 ほぼ毎日 汚染も心配ですが、それ以上に廃棄されている生乳を思うと、大切に飲まなければならないと思います
- 30代女 週2-3回 作っている方の苦労さ。
- 30代女 月1回以下 大事に飲もう
- 30代男 週1回 牛乳が飲みたくても店頭で売っていない日が続いた。生まれて初めて牛乳が貴重品に思えてしまいました。
- 30代男 ほぼ毎日 被災地方面産の牛乳を積極的にとろうと思った
- 30代男 週2-3回 今まで意識したことが無かったが、牛乳がスーパーになくなって、飲まなくなると牛乳の味が恋しくてとても飲みたくなった
- 30代男 月1回以下 産地を気にするようになった
- 40代女 ほぼ毎日 ニュースなどで、何も知らない牛たちが乳を搾ってもらおうと酪農家の方のところに寄ってくるのを見て胸がしめつけられそうだった。「搾っても捨てるだけ」という言葉と諦めと先の見えない絶望感を思うと、風評などに惑わされず少しでも生産者さんたちの力になりたいと思う。
- 40代女 ほぼ毎日 有り難い飲み物であると思った。
- 40代女 週4-5回 ニュースで牛乳を出荷できなくなった酪農家の方の嘆いている姿を見て、大事に飲もうと思うようになった。
- 40代男 ほぼ毎日 手に入ることが貴重に感じる気持ち
- 40代男 週1回 少なくとも出荷制限がない限り産地を選んで購入しようとは考えないようにしている。
- 40代男 週4-5回 普通に牛乳を摂取できる環境に感謝。
- 50代女 月2-3回 TVのニュースで バックが不足していて販売が出来ないが 乳は毎日出るので 容器を持っていけば 無料でくれたこと。食べ物は ムダにしない
- 50代女 ほぼ毎日 震災から10日ほど牛乳が買えませんでした。でも、何とか工夫してのいできました。でも、やっぱり生の牛乳が飲みたかったです。夏の暑い時はもっと飲みたくなるので、今の時期でよかったと思っています。牛乳のありがたみがよくわかりました。
- 50代女 ほぼ毎日 牛乳が、とても有難いものに思えます。(いつも以上に)
- 50代男 ほぼ毎日 牛乳は安売りの対象とされてきたが、日常生活にとってウェイトの高い飲料である
- 50代男 ほぼ毎日 供給者への感謝の気持ちが強くなった。
- 50代男 ほぼ毎日 酪農家の方々がいて、一頭一頭から搾乳したものを飲ませてもらっていたことに気づかせていただいた。
- 60代女 ほぼ毎日 以前から牛乳にはこだわりがあり乳飲料でない低脂肪乳を毎日飲んでたが、今では一層国産の牛乳のありがたさを意識するようになった。
- 60代男 ほぼ毎日 牛乳生産農家は一所懸命生産してくれている姿に感謝。
- 60代男 ほぼ毎日 一時品不足になったので、牛乳が貴重だと思えるようになった。
- 60代男 週2-3回 原乳を毎日捨て続けなければならない酪農家の人たちへの同情以上のものを思う。口蹄疫問題では殺処分されることがかわいそうと思ったが、今回は東電や政府の後手々々に回った対応が腹立たしい。
- 60代男 ほぼ毎日 原発の近隣で生乳が廃棄されているのを見聞きするにつけ、普段何気なく飲んでいる牛乳に対するありがたさを噛みしめるようになった。
- 60代男 週1回 牛乳は、子牛を育てるためのものなので、あらゆる栄養素が含まれている。被災地に牛乳を送るのがよい。ただ、空腹を満たすだけの食物を送っても、あまり意味がない。

品不足による大切さ・貴重さの意識

酪農家への感謝、その窮状への深い同情



**生活者の心に起きた
牛乳に関する
「よくない変化」のコメント**

生活者の心に起きた、牛乳に関する「よくない変化」のコメント 1/2

- | | |
|------------|--|
| 10代女 週1回 | 放射線のことを騒がれているので、ちょっとイメージダウン |
| 10代男 月1回以下 | 放射能が心配・・・ |
| 20代女 ほほ毎日 | 買い占めるほかがむかつく |
| 20代女 週2-3回 | 放射線への不安はあるが、育ち盛りの子供には牛乳を飲ませたく複雑な気持ち。 |
| 20代女 ほほ毎日 | 原産地がわからない商品が多いので、とても不安に感じながら飲んでいる。 |
| 20代女 週2-3回 | 福島県産に過敏になった。 |
| 20代女 月1回以下 | 放射線が基準値を超えていないか心配 |
| 20代男 ほほ毎日 | 店に入荷されていない |
| 20代男 ほほ毎日 | 東北関東地方の牧場で放射能に汚染された牛や牛乳が見つかったのがショックで不安を感じたのといつも売っている牛乳が気軽に買えなくなった。 |
| 20代男 週4-5回 | 放射性物質が検出されていること。 |
| 20代男 週1回 | 品薄で地震以降飲んでいない |
| 20代男 週2-3回 | 今後の牛乳は安全なのかどうか？ |
| 30代女 ほほ毎日 | チェルノブイリ原発事故で、生乳を飲んだ子供が内部被曝したと聞いたので、不安 |
| 30代女 ほほ毎日 | 一週間に4本飲むのに、今は一週間に1本しか買えない。 |
| 30代女 ほほ毎日 | 放射能汚染された牛乳かどうか、自分で調べる術がないので心配。 |
| 30代女 ほほ毎日 | 原発被害で牛乳にも原子力が悪影響を及ぼしているかもしれないので、不信感が強まった |
| 30代女 月1回以下 | なぜ買えないのかと思う気持ち |
| 30代女 月1回以下 | 私自信は、牛乳はあまり好きではないので、元からあまり飲まないのですが、子供は、牛乳をよく飲む子供もいると思うので大丈夫かなと思います。反面、捨てられる牛乳は、もったいないなと思います。何か食品以外で利用できないものかと思っています。 |
| 30代男 ほほ毎日 | 出荷規制 |
| 30代男 月1回以下 | 政府の牛乳供給に対する施策がはっきりとせず、安定供給されない |
| 30代男 ほほ毎日 | 子供に与える牛乳に対する漠然とした不安がある。しかし、中国産(海外産も)を飲みたいとは思わない。 |
| 30代男 ほほ毎日 | 福島第一原発の事故の影響で、牛乳も放射線被害の影響を受けるのではないかと危惧している。 |
| 30代男 週2-3回 | 放射性物質の含有量が気になって、あまり買いたくなくなった |
| 30代男 月1回以下 | どの店舗でも、牛乳がかえないこと。 |
| 40代女 ほほ毎日 | いつも買ってる牛乳が買えないので困る |
| 40代女 ほほ毎日 | 放射線による被害 |
| 40代女 ほほ毎日 | 放射線がそのまま反映されてしまう。 |
| 40代女 ほほ毎日 | 関東・東北地方の牛乳は買わないようにしようと思っている。 |
| 40代女 ほほ毎日 | 品薄でいつ手に入るかわからないのである時に買っておこうと思った |

生活者の心に起きた、牛乳に関する「よくない変化」のコメント 2/2

- | | |
|------------|--|
| 40代女 ほぼ毎日 | 安全基準値でも毎日飲むものなので蓄積しないか心配。関東の牛乳でも安全なのか、産地偽装が起こらないかなどの不安。 |
| 40代男 ほぼ毎日 | ヨーグルトが手に入らないので我先に購入したいという焦りの気持ち |
| 40代男 ほぼ毎日 | 関東近郊の生産地は買わない |
| 40代男 ほぼ毎日 | 一時期だが、国の基準値を超える放射性物資が検出された |
| 40代男 ほぼ毎日 | 安全性の問題産地の問題 |
| 40代男 週2-3回 | 牛乳の品不足は解決されていないように思うし放射能の影響も心配している。 |
| 50代女 ほぼ毎日 | 安全だと専門家が言葉を発しても、安全だと確信していた福島原発の今の状況を考えて何を信じていいかわからなくなり少しでも不安要素があるのなら摂取を控えようと思ってしまう |
| 50代女 ほぼ毎日 | 放射能が心配 |
| 50代女 月1回以下 | 汚染されていると思う |
| 50代女 ほぼ毎日 | 放射能の汚染などは大丈夫なのでしょう？ |
| 50代女 ほぼ毎日 | 毎日飲んでいますが、原乳の出荷差し止めのニュースを見て恐いと思った。飲んでいる牛乳が汚染されていたらと思うと恐い。 |
| 50代男 ほぼ毎日 | 子供は3月11日以降、牛乳を飲んでいない。 |
| 50代男 週2-3回 | 大地震の後は福島原発の問題から、牛乳や乳製品の産地・加工地を厳しく吟味するようになった。北海道のものしか買わないようにしている。また、家族全体で牛乳の消費が減ってきている。栄養面からも好ましくないことだとは思っているが、北海道産にも関わらず無意識に牛乳を避けているのかも知れない。 |
| 50代男 月1回以下 | すべて危険だという感じがある。 |
| 50代男 ほぼ毎日 | 原乳を捨てざるをえなくて捨てる写真 |
| 50代男 ほぼ毎日 | 家族と買い物に行った時、牛乳の在庫が全くなかった事。 |
| 50代男 週4-5回 | 安全性の心配、不安に感じながら飲んでいるが |
| 60代女 ほぼ毎日 | 産地を確認するようになった。これも、今後、ミルクなど加工食品になっていく過程で心配になる。特に、小さい子が口にする機会が多いから、心配。 |
| 60代女 週4-5回 | 安心して飲めないことや買いに行っても商品がないことが困ります |
| 60代女 月1回以下 | 牛は健康でも、食べる牧草が汚染されていれば、出る牛乳も汚染されていると感じるようになりました。 |
| 60代女 月1回以下 | 牛の被爆からの影響 |
| 60代男 ほぼ毎日 | 原発による放射能流出被害と風評被害。 |
| 60代男 週4-5回 | 販売量が減っている。多分工場での生産量が減っているせいだと思うが、それを大々的に言わないと、このまま風評被害で自滅してしまうのではないかと、思う。 |
| 60代男 週2-3回 | どうして突然スーパーの棚から牛乳がなくなるのか全く理解に苦しむ！ 最近では折角絞った生乳をむざむざ捨てなければならなかった酪農家のかたがたには本当に同情する。何も悪いことをしていないのにとばつりを受けている。全て東電と政治屋のせいである。 |
| 60代男 週2-3回 | 放射能汚染に対する過剰意識 |

放射能への恐怖心

産地がよくわからないメジャーブランド牛乳の存在や、牛乳は野菜のように放射性物質を洗い流せないことから 他の食品全般と比較して「放射能」に対して意識が集中する傾向。

欲しくても買えない品不足への不満

震災後の生活者に起きた心境の変化(一覧)

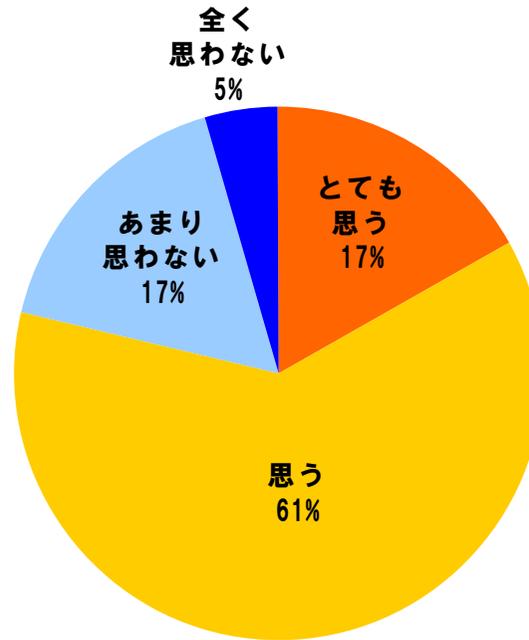
	震災後のよい変化		震災後のよくない変化	
全般的心理	約7割	みんなで助け合おうとする気持ち 日本を誇りに思う気持ち いまの普通の生活に感謝する気持ち	約6割	地震・災害や未来への不安 そこに起因する鬱の気持ち(マイナス思考) 自分は普通に暮らしていて被災地の人に 申し訳ないという気持ち (生き残ったものの罪悪感)
食べ物への心理	約4割	食べ物を大切に思い 無駄にしない気持ち 生産者への感謝の気持ち 普通に食べ物がある幸せ実感 風評被害を助長しない気持ち	約4割	放射能への恐怖心 (被災地域産の食品に対する避けたい気持ち) 買いためするひとへの嫌悪感 でも、自分も買いためしたくなる気持ち
牛乳への心理	約1割	品不足による 大切さ・貴重さの意識 酪農家への感謝 その窮状への深い同情	約3割	放射能への恐怖心 (食品全般と比して、意識が集中) 欲しくても買えない品不足への不満

震災後、牛乳に関する心理の変化は、他に比して少ないが、とくに「放射能」に関する風評的なネガティブ意識は、これ以上の広がりを見せないよう、万全の危機管理を施したい。
 (簡易な定期調査などによる、状況の推移把握など)

東日本大震災に関連した、酪農／酪農家に対する支援意識

酪農家／酪農への支援意識

いま現在、3／11に起きた、東北地方を中心とする大地震(東日本大震災)の被害から、多くの酪農家において牛乳の生産が困難になったり、生活に困る事態が発生しています。そんな酪農家を助けるために募金を募るとしたら、あなたはどれくらい協力したいと思いますか。



N=600

**震災に関連した酪農の窮状を助ける取り組みへの
生活者の参加意識は高い。**



**酪農家を支援する
募金への参加意識のコメント**

酪農家を支援する募金への参加意識のコメント 1/2

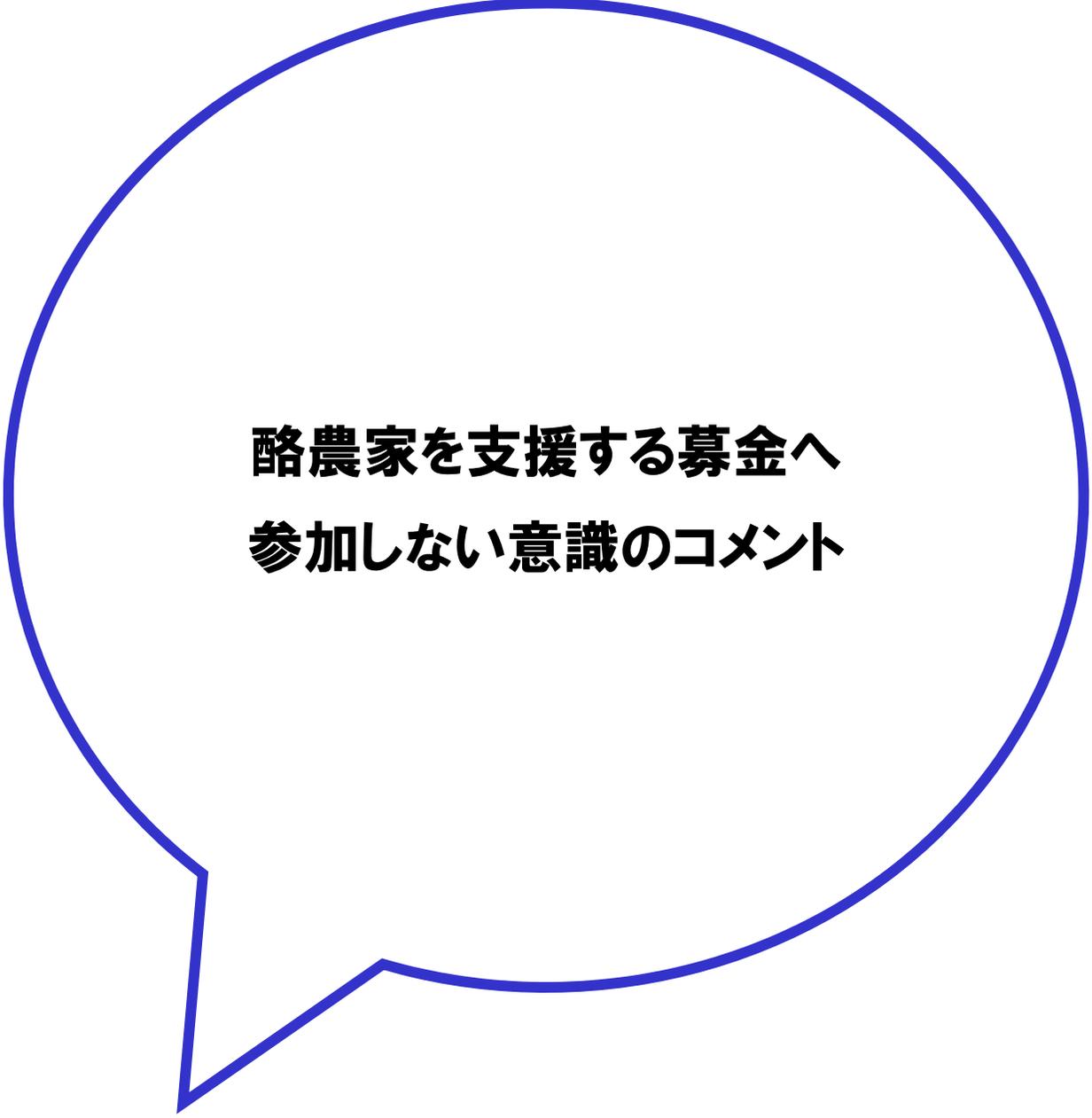
- | | |
|------------|--|
| 10代女 ほぼ毎日 | 牛乳は私の生活に欠かせない物だから、その牛乳を作っている人も助けて、牛乳を供給してほしいから。 |
| 10代女 週1回 | 今までおいしい食べ物を届けてくれた農家の方々に恩返しをしたいから |
| 10代女 月1回以下 | 困っているのだから助けるのは当然だと思う。一人ではたいした力にならなくても募金という形でたくさんの人の力が合わさったら人を助けることは可能だと思う。 |
| 10代男 ほぼ毎日 | おいしい牛乳を作るための手助けができるのであれば手助けしたいとおもったから |
| 10代男 月1回以下 | 可哀想だから。 |
| 20代女 ほぼ毎日 | 東日本大震災が起きてから、募金は今までに何度もしているし、日本人なら日本人を助けるのは義務だと思います。牛乳の生産は日本にとって欠かせないですし、協力したいと思います。 |
| 20代女 ほぼ毎日 | 今の日本は多くの食糧を外国に依存しているが牛乳の自給率は100%と思う。安心して牛乳を飲める環境であることはありがたいし、こどもにもそういう環境を残してやりたいので、酪農家さんのためであるのなら募金したい |
| 20代女 週2-3回 | 私の力は小さいかもしれないが、何かしたい。 |
| 20代女 月2-3回 | 酪農はすごく大変だと思うのでとても協力したい。政府は頼りにならないので国民が協力しないとたないと思う。 |
| 20代男 ほぼ毎日 | 安定した供給ができるようにしてほしい |
| 20代男 週2-3回 | 募金の目的がはっきりしていると思うから。 |
| 20代男 ほぼ毎日 | 牛乳には子供の頃から大変お世話になっているので。 |
| 20代男 週2-3回 | 自分も困るし、困っている人を助けたいと思うのが人情だから |
| 20代男 月1回以下 | もともと厳しかった農業、畜産業が地震や原発の影響で再起不能になってしまう。 |
| 20代男 月1回以下 | 復興させないと畜産業が衰退してしまうから。 |
| 30代女 ほぼ毎日 | 自然災害が原因で困っている人は助けないといけないから。 |
| 30代女 ほぼ毎日 | 困った時はお互い様だから。 |
| 30代女 週4-5回 | これまで全身全霊で頑張ってきた農家の方々が、今回のことで廃業したりして生活に困られることは、本当にお気の毒でつらいと思うので |
| 30代女 週4-5回 | 自分でも力になれることがあれば、できる限り協力をしたいと思っています。 |
| 30代女 月1回以下 | 他人事と思えないから。 |
| 30代女 月1回以下 | 今回の大地震の対して自分ができることは何か行動に起こしたいと思っているので |
| 30代男 ほぼ毎日 | 政府がハッキリと保証するなりすれば良いのですが、このままの状況だと離農される方が増えそうで恐怖です |
| 30代男 ほぼ毎日 | 毎日牛乳を飲んでいる自分としても、生産者の皆さまのために何かしらの力になりたいと思うから。 |
| 30代男 週4-5回 | 困っている時はお互い様だからです。 |
| 30代男 週2-3回 | 一致団結が必要だと思うから |
| 30代男 月2-3回 | 風評被害は問題があるから |
| 30代男 月2-3回 | 困っているならお互い様 |
| 40代女 ほぼ毎日 | 牛乳がないと困るし、酪農家の方たちに何か日ごろの恩返しができるならしたい。 |
| 40代女 ほぼ毎日 | 宮崎は口蹄疫に見まわれ、大変な事になり惨事を目のあたりにしたので。特に酪農家には思いいれがあるので。 |

酪農家を支援する募金への参加意識のコメント 2/2

- | | | |
|------|-------|--|
| 40代女 | 週2-3回 | 酪農家に限らず困っているときはお互い様で助け合いたいです。余裕が自分自身もないので大きなことは言えませんが。 |
| 40代女 | 月2-3回 | 生き物を扱う畜産業は、生活のためだけでなく、家畜に対しても愛情を持っている。たとえ出荷できず、収入がなくなっても、家畜のえさは代は必要不可欠だから。畜産業の人たちが手塩にかけて生産される牛乳の恩恵を小さな頃から受けているのだから、多少に関わらず募金に協力するのは当たり前だと思う。 |
| 40代女 | 週4-5回 | 助け合うのは当然だと思う。酪農家に限らず野菜農家に対しても同じく思っている。 |
| 40代女 | 月2-3回 | 助け合いです。 |
| 40代男 | ほぼ毎日 | 酪農家に限らず、震災で被害にあった地域を微力ながら支援していきたい |
| 40代男 | 週1回 | 農業は基幹産業 |
| 40代男 | ほぼ毎日 | 原発由来で生産不能となった人は、無過失という点で他の被災者と同じだが、その立地の不可避性という点ではその被害の受け方があまりにも理不尽だと思うから。 |
| 40代男 | 週4-5回 | 牛乳の生産を今までどおり続けてほしいから |
| 40代男 | 月1回以下 | 東日本から酪農家が消滅してはいけないので |
| 40代男 | 月1回以下 | 助け合うことは大事だから |
| 50代女 | ほぼ毎日 | あれだけのダメージを受けたのですから復讐は大変だと思います。日本が日本であるために、日本で取れたものを食べたい飲みたいので、東北を再建するのは私たちの役割だと思います。今だけの募金でなく、継続的な募金に協力します |
| 50代女 | ほぼ毎日 | 牛乳が好きだから、酪農家の方にはがんばってもらいたいので支援します。 |
| 50代女 | 週2-3回 | 自然災害なので困ったときはお互い様なので協力したい |
| 50代女 | 週1回 | たまたま東日本でおきたが、明日は我が身。お互いさまの心を忘れてはいけない |
| 50代女 | 月2-3回 | 被災地のせいではないから |
| 50代女 | 月1回以下 | 酪農家が減ることは日本にとって良くないことだ。食料受給率が下がる。外国からは輸入したくない。 |
| 50代男 | ほぼ毎日 | 今まで恩恵にあずかっていたので。 |
| 50代男 | ほぼ毎日 | 今、日本の酪農家を守るときです。酪農の仕事をやめてしまったら新鮮な牛乳が飲めません。働かなくてもお金をばら撒く政策でなく、頑張っている人に、税金を投入することはだれも反対しません。 |
| 50代男 | 週4-5回 | このままでは日本の酪農が壊れてしまう。 |
| 50代男 | 週1回 | 自分が原因でなく、危機管理が出来ていない企業や国のために、生活が脅かされているから |
| 50代男 | 月2-3回 | 酪農家に罪はない |
| 50代男 | 月1回以下 | 日本の産業が衰退することは困る。 |
| 60代女 | ほぼ毎日 | 第一次産業を守るため。 |
| 60代女 | 週4-5回 | みんなは一人のために、一人はみんなのためにの言葉があるように皆が誰かに助けられ助け合って生きているからです |
| 60代女 | 月1回以下 | 酪農家に限らず、被災者のみなさんのため。 |
| 60代男 | ほぼ毎日 | 酪農家のせいではないので |
| 60代男 | 週2-3回 | 生産者の人に何も罪は無い。一生懸命に作ったものが捨てられていくのをニュースで見るのは忍びない。 |
| 60代男 | 月1回以下 | 自分の落ち度がないのに困る人は助けたい。 |

大震災で、不運にも被害を受けた酪農家に対する
「(同じ日本人として)困ったときはお互い様」という、助けあいの意識。

日本の酪農に、これからも安定して牛乳供給をして欲しい気持ち。



**酪農家を支援する募金へ
参加しない意識のコメント**

酪農家を支援する募金へ参加しない意識のコメント

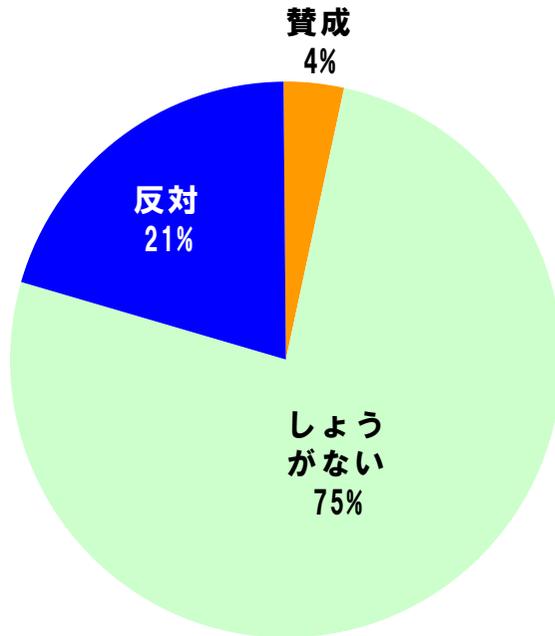
- | | | |
|------|-------|---|
| 10代女 | ほぼ毎日 | 寄付する金がないから |
| 10代男 | 週4-5回 | あまりお金を持っていない。 |
| 10代男 | 月1回以下 | 酪農家だけが大変な思いをしているわけではないから |
| 20代女 | ほぼ毎日 | いつも通り牛乳を買う消費者として助けたい。募金はまた違うところにしたい。 |
| 20代女 | 週2-3回 | 裕福でないので |
| 20代男 | 週4-5回 | 募金というと嘘くさいと思ってしまう。本来あるべき使い道にきちんと使われているのか疑問。(〇〇募金協会、委員会などたくさんあるので) |
| 20代男 | 月1回以下 | 国が補償もしくは東電が損害賠償を払うべき |
| 30代女 | ほぼ毎日 | 自分の生活で精一杯の状態では個人的に募金するのは無理。 |
| 30代女 | 月2-3回 | 募金ではなく、値上げや保障で賄ってほしいとおもう。 |
| 30代女 | 月1回以下 | 困っている被災者や生産者は沢山います。酪農家に限定する事自体がどうかと思う。あるいは価格をあげればと思う。 |
| 30代男 | ほぼ毎日 | 特定の分野に募金するより被災者全体のためになる募金をしたい。 |
| 30代男 | 月1回以下 | 苦勞しているのは酪農家だけではないと思うので。 |
| 40代女 | ほぼ毎日 | その募金が本当に酪農家のために活用されるのかどうか疑わしいから。 |
| 40代女 | 週4-5回 | 私にはお金がない |
| 40代男 | ほぼ毎日 | 個別の産業の復興については、政府・自治体が主として行うものであり、酪農家支援を民間で行うなら、数年間のスパンで価格を引き上げる等透明性の高いものとするべき |
| 40代男 | 週2-3回 | 困ってるのは酪農家だけじゃないんですよ。もちろん募金はしたいですし実際にしていますが、「酪農家を助けるため」なんてのは特別扱いみたいで気に入らないです。 |
| 40代男 | 週1回 | 募金という形より商品の価格に反映してほしい |
| 50代女 | 週2-3回 | 酪農家だけでなく農家、漁業も同じなので募金を募るならその職業の被害にあっている全ての人もやるべき |
| 50代女 | 月1回以下 | ほかで 募金した |
| 50代男 | ほぼ毎日 | どの業界の人も困っている。酪農家だけではないから。 |
| 50代男 | 週2-3回 | 酪農家を特定するよりも、一般募金が優先 |
| 60代女 | ほぼ毎日 | これは、それこそ国や行政がやるべきことです。安易に募金に頼るから政治が機能しなくなるのです。しかし結局、最後は増税か国債に頼ることにはなりますが。それは公平でしょう。 |
| 60代女 | 週4-5回 | 募金はしたいと思いません。今回の地震だけではなくいつもしていません。価格を引き上げるほうがよいと思います。 |
| 60代男 | ほぼ毎日 | あらゆる産業が困難に直面しているので、酪農だけに援助するよりも全体に援助すべき。 |
| 60代男 | 月2-3回 | 国や政府、「東電」が対策を講じるべき。 |

自分もお金に困っているという意識。

酪農家を特別扱いすることへの違和感。

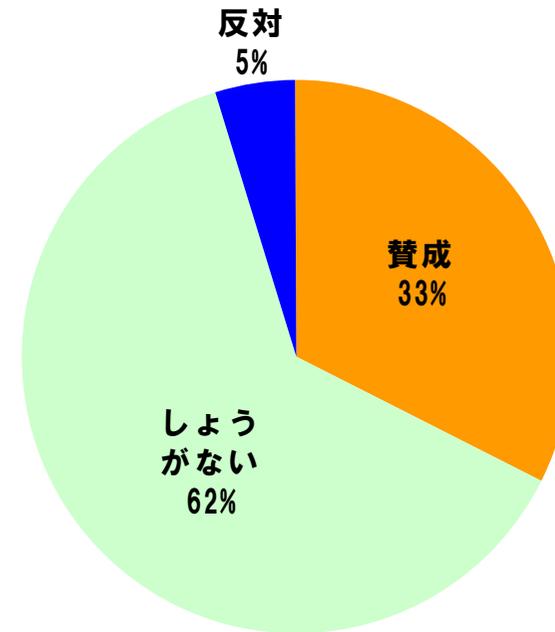
募金形式での酪農家／酪農への支援を拒否するひとのなかには、
酪農／酪農家支援の目的や意味づけを明確にした
「価格の引き上げ」を支持する声が少なくない。

2008年の12月



N=500

2011年の4月



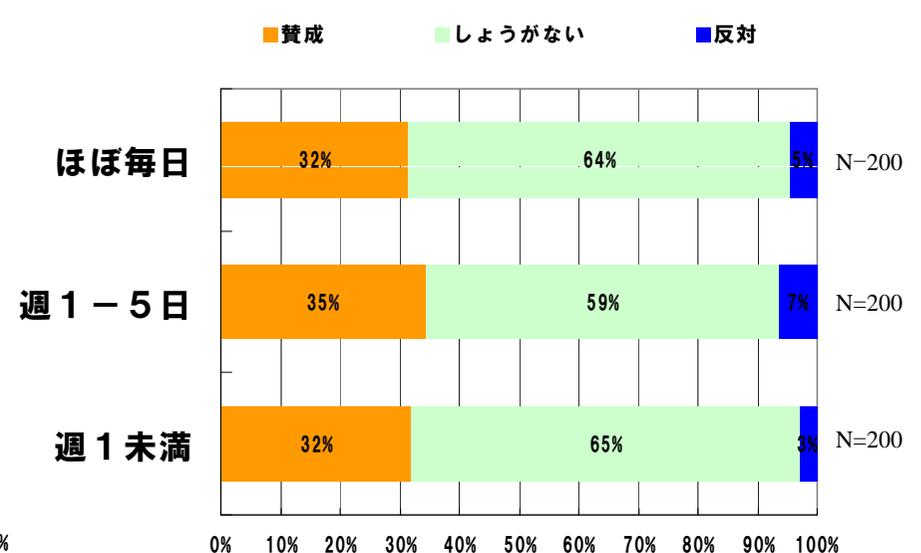
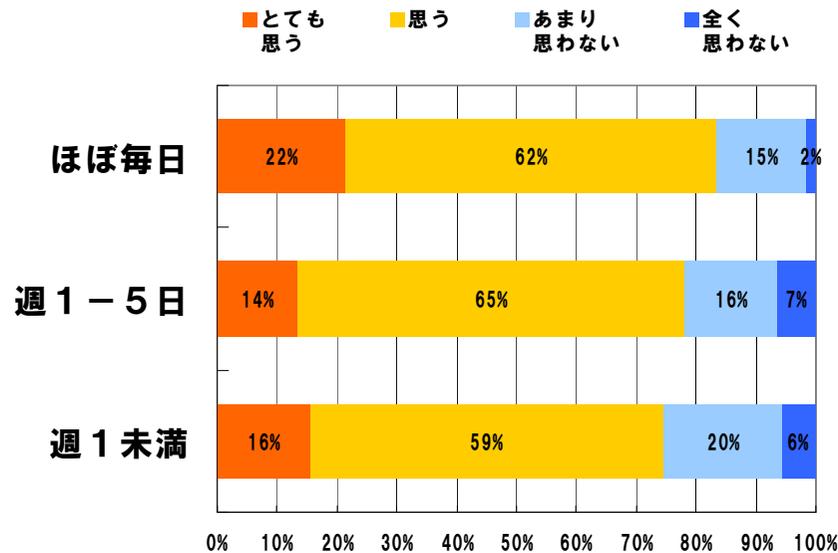
N=600

現在、生活者の「牛乳の価格引き上げ」に対する意識は、
(酪農／酪農家支援の文脈において) 大きく賛成に傾いている。

(漠然と) 酪農家を支援する
募金への参加意識

大震災による酪農被害にともなう
牛乳の価格引き上げに関する許容意識

牛乳飲用頻度



募金への参加意識や、価格引き上げへの許容意識は、
日ごろの牛乳の購入頻度によらない。

(※牛乳関与意識ではなく、同じ日本人としての助け合い意識がその根源にある。)

**震災でダメージを受けた酪農／酪農家に対する
支援意識は高い(約8割)。**

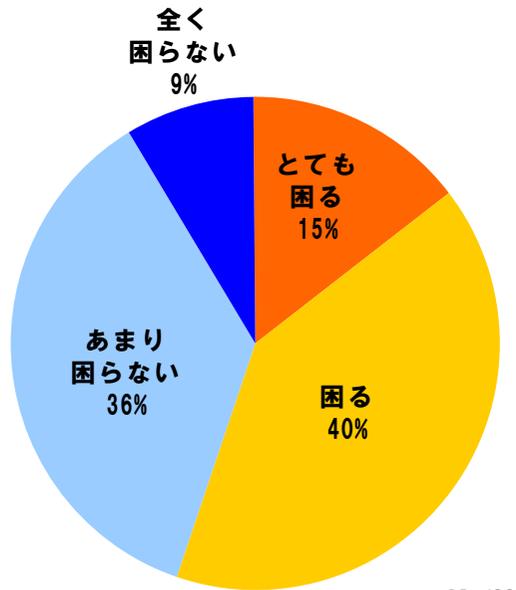
〔 その支援意識は、日ごろの牛乳の購入頻度によらず、
「同じ日本人としての助け合い意識」がその根源にある。 〕

**震災の影響を克服して牛乳の安定供給を図るために、
増高するコストを価格に転嫁する必要がある場合は、
大震災により被害にこうむった酪農／酪農家の支援の
目的と意味づけを明確にすることが重要。
(生活者全体の95%が許容)**

東日本大震災に関連した、牛乳に対する必要の意識

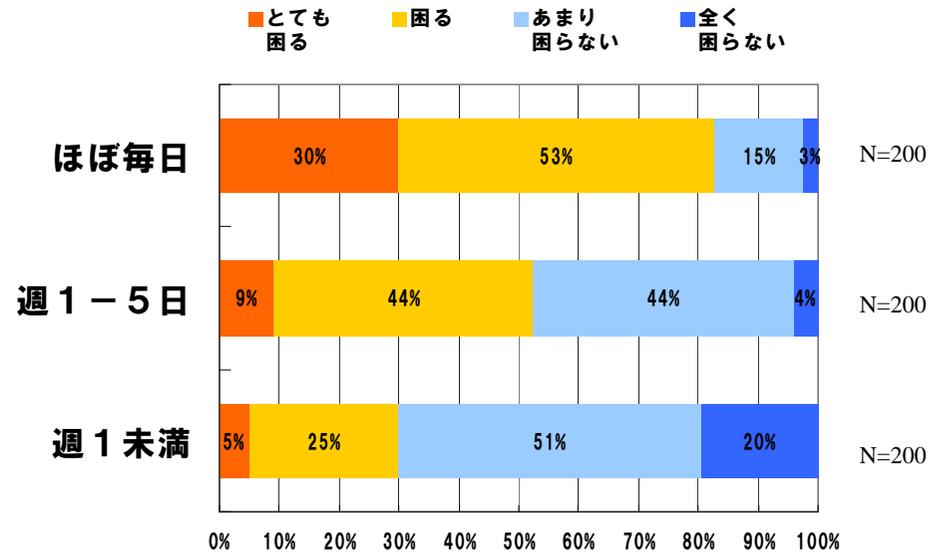
牛乳の供給不足に対する意識

今後、東北を中心とした地震の被害や計画停電の影響で、牛乳の供給不足が長引いたり、悪化したりするとしたら、あなたはそのことについて、どれくらい困ると思いますか。

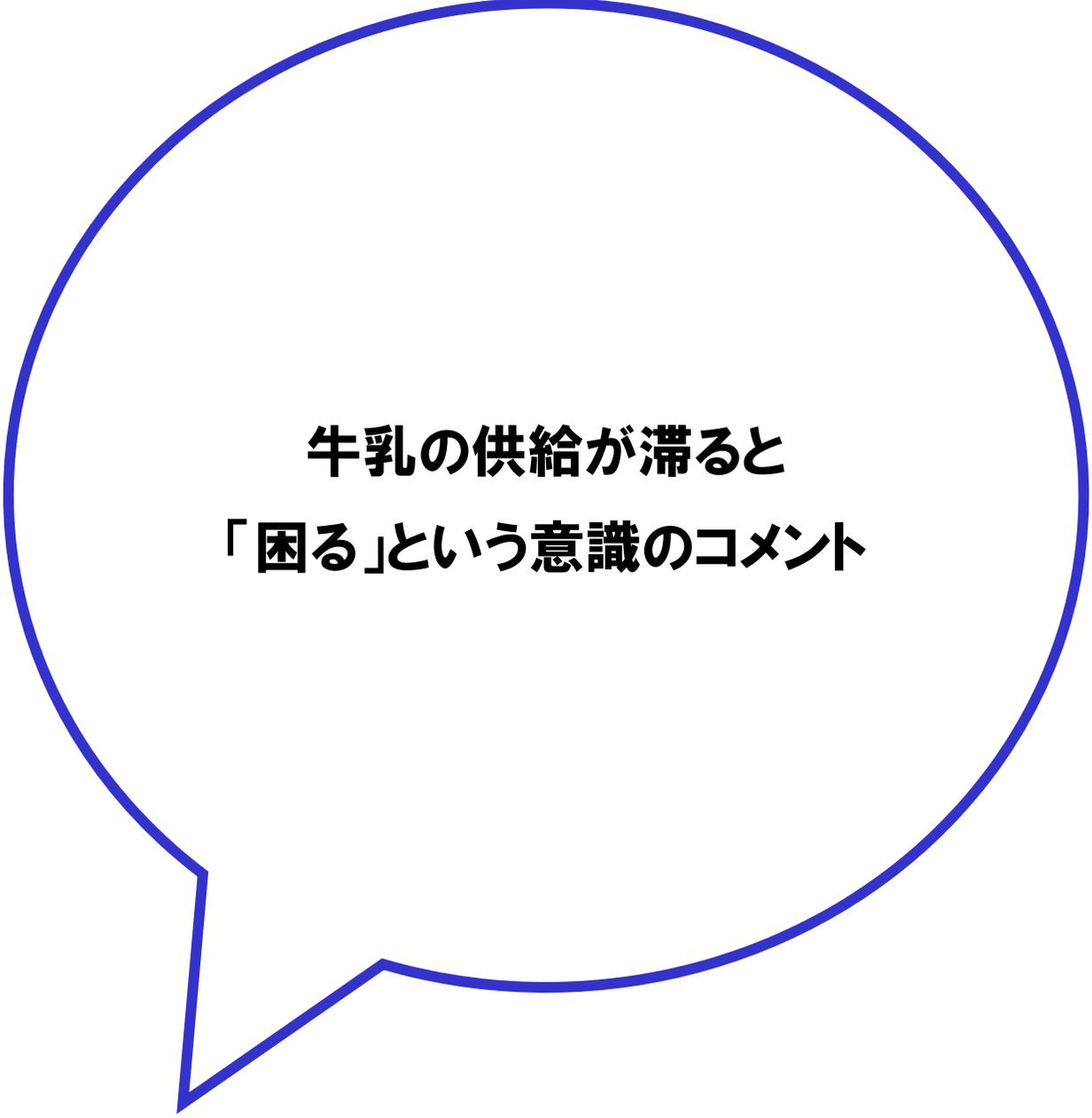


N=600

牛乳飲用頻度



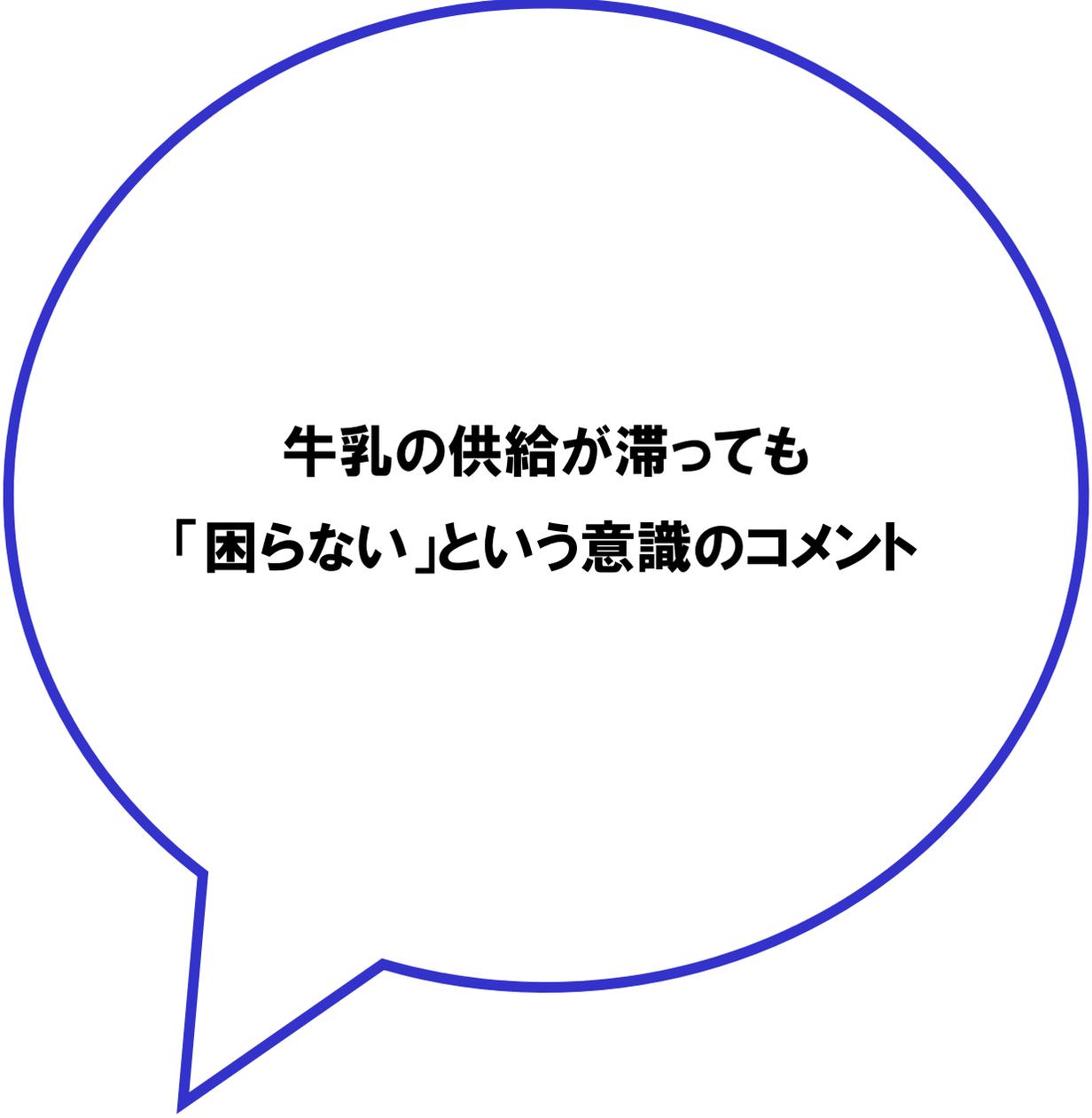
日ごろの牛乳の購入頻度によって、牛乳の供給不足が長引いたり、悪化したりすることへの困難意識は大きく異なる



**牛乳の供給が滞ると
「困る」という意識のコメント**

牛乳の供給が滞ると「困る」という意識のコメント

10代女	ほぼ毎日	牛乳がないと、パンやお菓子を食えるときにとてもストレスになるから。	40代女	ほぼ毎日	美味しいカフェオーレも飲めなくなるから。でも、暫くの間なら我慢できるし他のものを代用して作ると思うけど…全く飲めなくなると寂しいです。
10代女	ほぼ毎日	自分や家族は牛乳が好きだし、身内に製菓業者に勤めている人がいるため、菓子の材料も不足してしまう恐れもあるため。	40代女	週4-5回	牛乳が飲めなくなると栄養バランスがかたよりそうだから。
10代男	週4-5回	飲めなくなったら困る。	40代男	ほぼ毎日	毎日飲んでいるものがなくなったら、不安になると思う。
10代男	ほぼ毎日	飲みたいと思った時に飲めないことが長期間続くのはさすがに困ると思うから	40代男	ほぼ毎日	普段の食事に欠かせないものだから。
20代女	ほぼ毎日	料理内容にも影響が出るだろうし、なにか淋しい	40代男	ほぼ毎日	栄養のバランスの良いもので、おいしく手軽にとれるものがないので。
20代女	ほぼ毎日	精神的に不安になる。ストレスがたまると思う。	40代男	週2-3回	野菜ジュースだけでは何か物足りない。やはり牛乳が必要です。
20代女	ほぼ毎日	料理に必要なだったりするので、自分よりも酪農家や牛がとても心配です	50代女	ほぼ毎日	今住んでいる地域では、牛乳の供給不足はまったく感じていないが、もしそうなったら、とても困ると思う
20代女	ほぼ毎日	おいしいカフェオーレが作れないですし、きつと便秘になると思います。	50代女	ほぼ毎日	毎朝飲んでいたものが飲めなくなるとしたらストレスがたまると思う。
20代男	ほぼ毎日	ただ牛乳を飲むだけでなく、料理の一品として使うことも多いので食生活に大いに支障をきたすので困る	50代女	ほぼ毎日	毎日の生活でコーヒーは欠かせず、そのコーヒーに牛乳はなくてはならないものなので
20代男	ほぼ毎日	カルシウムがとれなくなるから	50代女	週2-3回	飲用量はあまり多くないが、やはり普通に有る物が無いと困る
20代男	ほぼ毎日	今まで飲んでいた物が飲めなくなるのは不便	50代男	ほぼ毎日	牛乳は子供の頃からの長い付き合い。自宅でカフェオーレが作れなくなる。
20代男	週4-5回	計画停電は直接は関係ないものの、食の流通がストップするとい好きな食べ物も食べられなくなるから。	50代男	ほぼ毎日	飲むことが習慣化しているので。
30代女	ほぼ毎日	牛乳が大好物だから。栄養・カロリー・嗜好品摂取の大半を牛乳に依存しているから。	50代男	ほぼ毎日	朝食で牛乳がないと物足りない
30代女	ほぼ毎日	牛乳が飲めないとかなりのストレス。	50代男	週4-5回	飲みたいときにないということはストレスになる。
30代女	ほぼ毎日	便秘になって体調を崩す	60代女	ほぼ毎日	牛乳は毎日の食事に必需品だから
30代女	週4-5回	ないと思うと余計に欲しくなってしまう	60代女	ほぼ毎日	骨折してしまい動けなくなってしまうから
30代男	ほぼ毎日	日常で飲んでいるので、生活スタイルが変わってしまう。	60代女	ほぼ毎日	習慣になってるので、凄く物足りない気持ちになります。
30代男	ほぼ毎日	毎日欠かさず飲み続けている牛乳が、必要なときに飲めなくなってしまうと、とても困るから。	60代女	週4-5回	骨すかすかはとても困りますからね。
30代男	ほぼ毎日	飲めなくても実際は困らないかもしれないが悲しい。	60代男	ほぼ毎日	毎日欲しいものだから。
30代男	週2-3回	飲みたいときに冷蔵庫にないと寂しいと思うから	60代男	ほぼ毎日	牛乳のない生活は、考えられないし、不安である。
40代女	ほぼ毎日	毎日習慣のように飲んでいるし、家族も飲むのでなくなると困る	60代男	ほぼ毎日	牛乳は不可欠
40代女	ほぼ毎日	毎日、当たり前のようにカフェオーレやミルクティを飲む習慣だから。	60代男	週4-5回	やはり今まで飲んでいたものが不足するのはちょっと困る



**牛乳の供給が滞っても
「困らない」という意識のコメント**

牛乳の供給が滞っても「困らない」という意識のコメント

10代女	月2-3回	牛乳は普段からあまり飲まないから	40代女	週2-3回	無かったら他の食品で代用するから
10代男	週2-3回	牛乳が少ない生活を考えても、あまり苦にならない気がするから。	40代女	月1回以下	普段からあまり必要としていないから
10代男	月1回以下	牛乳はそこまで好きじゃないから	40代男	週2-3回	ないならなくてもなんとかかなと思うから
10代男	月1回以下	牛乳を普段からあまり飲まないの自分に影響があまりない	40代男	週2-3回	魚や納豆で必要な栄養素を賄っていると思う
20代女	週2-3回	他の食品でも栄養分は摂れるから	40代男	週1回	魚やにぼしが好きだから。
20代女	週1回	あまり飲まずに生活してきたため、大きな変化は影響ない	40代男	月1回以下	普段から飲まないから
20代女	週2-3回	豆乳を買うので特に困らないと思う	50代女	週2-3回	カルシウム摂取はビタミン剤や他の食品で代用できるから
20代女	月1回以下	牛乳が好きではないのでめったに買わないから	50代女	週1回	普段から、さほど摂取していない
20代男	週1回	代替の食品がほかにあるから	50代女	月2-3回	大豆や豆腐などでたんぱく質をとる。
20代男	週1回	他の飲料を飲むので	50代女	月1回以下	それほど頻繁に牛乳を飲まない
20代男	月2-3回	飲み物は水などで代用するので。	50代男	週2-3回	他の食品で代用
20代男	月1回以下	普段から牛乳を飲まないから。	50代男	週2-3回	牛乳がなくても生活に困ることはない・・・
30代女	週2-3回	普段からあまり飲まないの	50代男	月1回以下	牛乳はそもそもあまり飲まない。
30代女	月2-3回	牛乳そのものを買うことが少ないので	50代男	月1回以下	戦前は日本人は牛乳は飲んでいなかったわけで、もう一度過去の食生活に戻れば良いと思う。
30代女	月2-3回	豆乳やスキムミルクで代用出来る為。	60代女	週2-3回	代替え品に頼る
30代女	月1回以下	それ以外の食品でも補えるだろうと思うから	60代女	週1回	豆乳を自分で作っている為。
30代男	週2-3回	しょっちゅう牛乳を飲んでいないから	60代女	月1回以下	普段あまり牛乳をのまないから。
30代男	週2-3回	他の飲料でなんとか代用できるから	60代女	月1回以下	毎日牛乳を飲まないから
30代男	月2-3回	実際に牛乳を飲む機会は、それほど多くないことから	60代男	週2-3回	別の食材を見つけて代替を考えれば良い
30代男	月1回以下	私自身はこまらない。	60代男	週2-3回	こんな時には贅沢な事はいえません。牛乳代替商品サプリメントや豆乳などで補うようにしたいです。
40代女	週2-3回	他の物で補えばいいので。	60代男	月2-3回	普段牛乳は余り飲まないから無くても困らない。
40代女	週2-3回	牛乳がないからといってカルシウムがとれないわけではないから。	60代男	月1回以下	代替え品がある

牛乳の供給が滞ると「困る」という意識

牛乳の栄養や、牛乳がもたらすメリットに関する、
実利的な不足意識に加えて、
馴染みのものがなくなることへの不安や物足りなさやストレスといった
心理的困難を挙げる人が多い。

牛乳の供給が滞っても「困らない」という意識

牛乳の飲用頻度が低い生活者は、
「そもそも飲んでいないから困らない」という意識が強い。
そこそこ牛乳飲用頻度がある層は、
「他のもので代替」という意識が強くなる。

牛乳飲用**高頻度層**は、供給不足によって、むしろ牛乳への**感情移入**が更に強化される傾向。
その一方で、**中頻度層**が**他食品へ流出**することで、**牛乳消費の二極化**が懸念される。